

シニア世代とご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

燦ホールディングス株式会社

決算説明会（2024年3月期第2四半期）

2023年11月20日

東証プライム
証券コード 9628

目次

1	2024年3月期第2四半期決算概要	P 02
2	公益社の葬儀(件数・単価)の状況	P 11
3	葬仙・タレイの概況	P 17
4	2024年3月期(2023年度)の予想(業績・配当)	P 20
5	中期経営計画の進捗状況	P 23
6	当社グループの人的資本経営	P 35
7	中期経営計画 株主還元方針	P 38

2024年3月期第2四半期決算概要

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



2Q累計 業績

- **2024年3月期 2Q累計の業績は、期初公表どおり前年同期比《増収減益》**
- **増収の主要因は、一般葬儀の単価上昇と葬儀に付随する商品・サービス提供の収入増**
 - 小規模・簡素な葬儀の件数割合は微増するも、一般葬儀で単価が上昇
 - 葬儀に付随する商品・サービス提供の収入も増収
 - コロナ禍を契機に加速した葬儀の小規模化は緩和
- **営業費用・一般管理費は将来の成長のための費用を中心に増加**
 - 将来的な新規出店に伴う葬儀件数増加および売上拡大に備えた人員体制強化のための人件費・採用費の増加
 - 新規出店による地代家賃の増加
 - 先行投資としての広告宣伝費の増加
 - 基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費の増加
- **この結果、営業利益は6.2%の減益**

業績予想

- **当初予想から変更なし 通期で前期比《増収減益》を予想**
 - 会館出店計画に伴う先行コストの発生
 - 将来の件数増に備えるための積極的な人材採用による人件費・採用費の増加
 - 新型コロナウイルス感染症の影響はすでに業績に対する主要なリスクではない

配当予想

- **当初予想から変更なし 中間23.0円、期末11.5円（株式分割後）**
- **年間で34.5円（株式分割後） 前期比2円増配（8期連続増配）を予定**
予想配当性向 21.4% * 2023年3月31日現在の自己株式数に基づいて計算

2Q累計 損益

- ・ 営業収益は前年同期比3.2%の増収、営業利益は同6.2%の減益（当初公表通り）
営業利益率は16.1%と1.6ポイント低下も中期経営計画目標値15.5%以上は維持
- ・ 主な増収要因は、一般葬儀の単価の上昇と葬儀に付随する商品・サービス提供の収入増
- ・ 営業費用は、将来的な新規出店に伴う葬儀件数増加および売上拡大に備えた人員体制強化のために計画的に人件費・採用費を増加させたこと、新規出店による地代家賃、先行投資としての広告宣伝費の増加により費用増
- ・ 一般管理費は、基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費が増加

（単位：百万円）

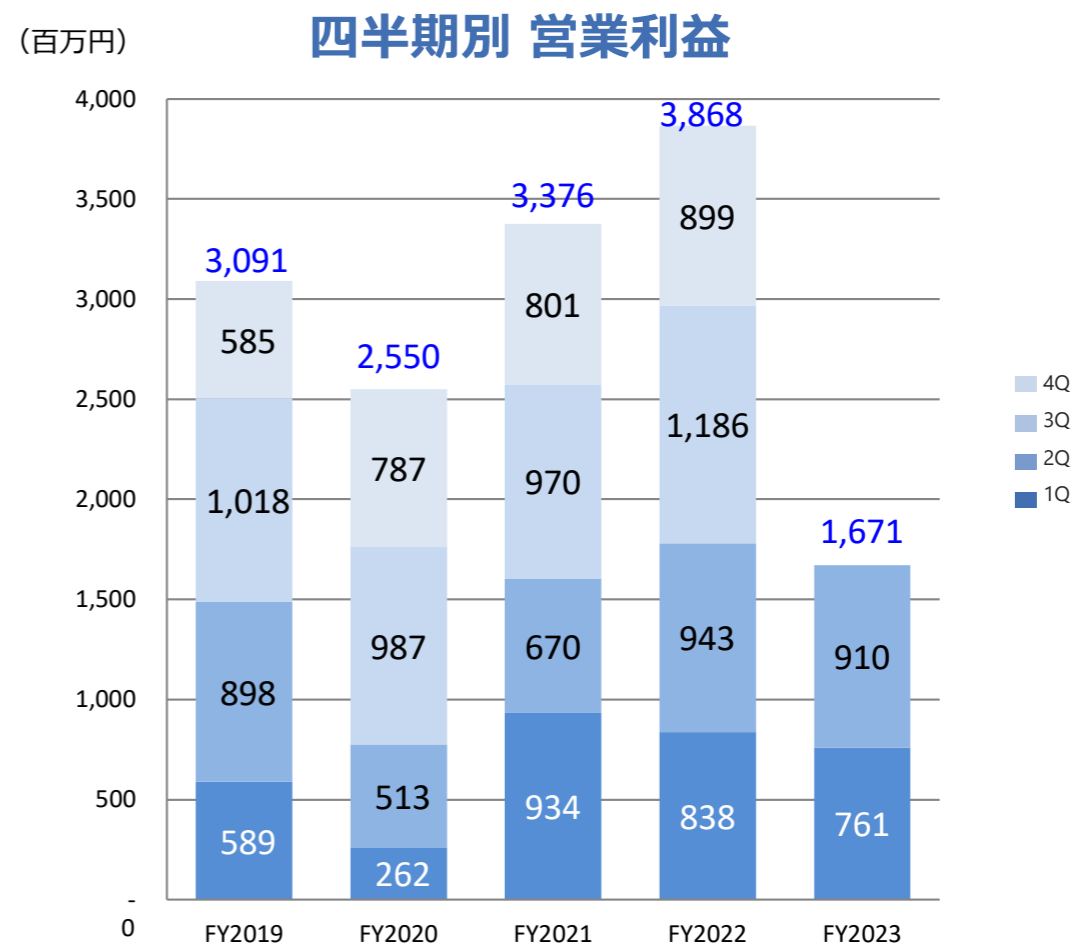
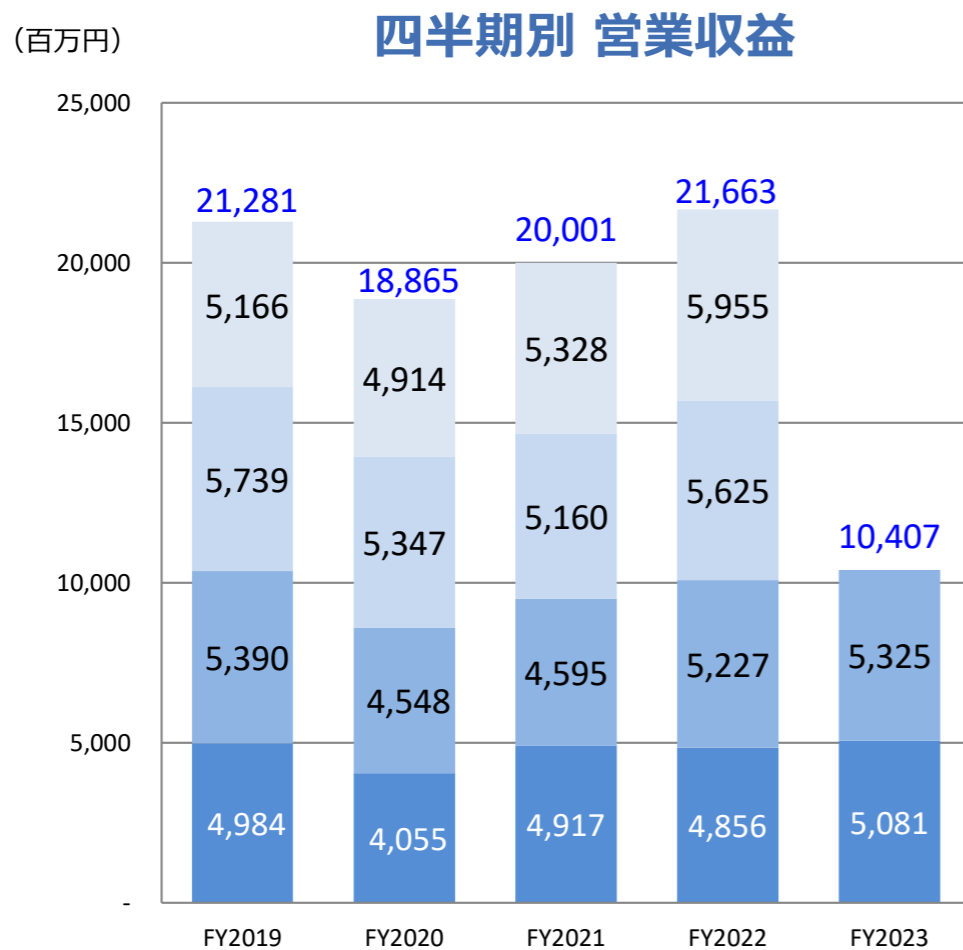
	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	前期比		当初業績予想（2023.5.11）	
			増減率	増減額	4Q累計	進捗率
営業収益	10,083	10,407	3.2%	323	22,700	45.8%
営業費用	7,602	7,991	5.1%	388		
一般管理費	697	744	6.7%	46		
営業利益	1,782	1,671	-6.2%	▲110	3,570	46.8%
営業利益率	17.7%	16.1%	-1.6pt		15.7%	
経常利益	1,763	1,684	-4.5%	▲79	3,560	47.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,218	1,085	-10.9%	▲133	2,270	47.8%
1株当たり純利益 （円）	57.48	52.32	-9.0%	▲5.16	109.37	47.8%

- ・ 1Qの増収減益が2Qにおいても継続
- ・ 1Qと比べて2Qの方が葬儀施行件数・葬儀単価ともに上昇した
- ・ 2Qの方が高い営業利益率を確保した

(単位：百万円)

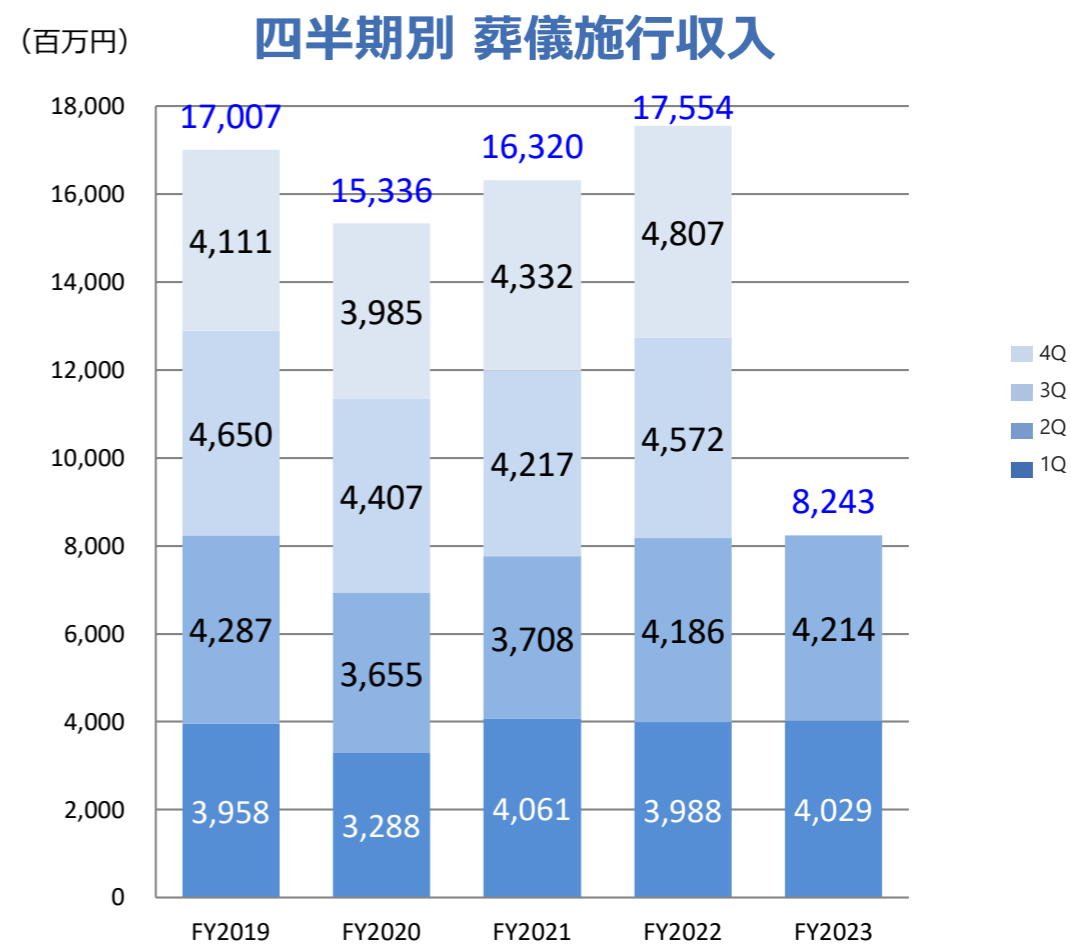
	FY2022 1Q	FY2023 1Q	前年同期比 増減率	FY2022 2Q	FY2023 2Q	前年同期比 増減率
営業収益	4,856	5,081	4.6%	5,227	5,325	1.9%
営業費用	3,667	3,948	7.7%	3,934	4,042	2.7%
一般管理費	349	370	6.0%	348	373	7.2%
営業利益	838	761	-9.2%	943	910	-3.6%
営業利益率	17.3%	15.0%	-2.3pt	18.1%	17.1%	-1.0pt
経常利益	825	766	-7.2%	937	918	-2.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	526	497	-5.5%	692	588	-15.0%

- ・ 当 2 Q累計の営業収益はコロナ前2019年度の 2 Q累計を上回り過去最高。
- ・ 営業利益は当 2 Q累計は将来の成長に向けた計画的な先行投資により前年同期比減益も、それに次ぐ利益水準を維持

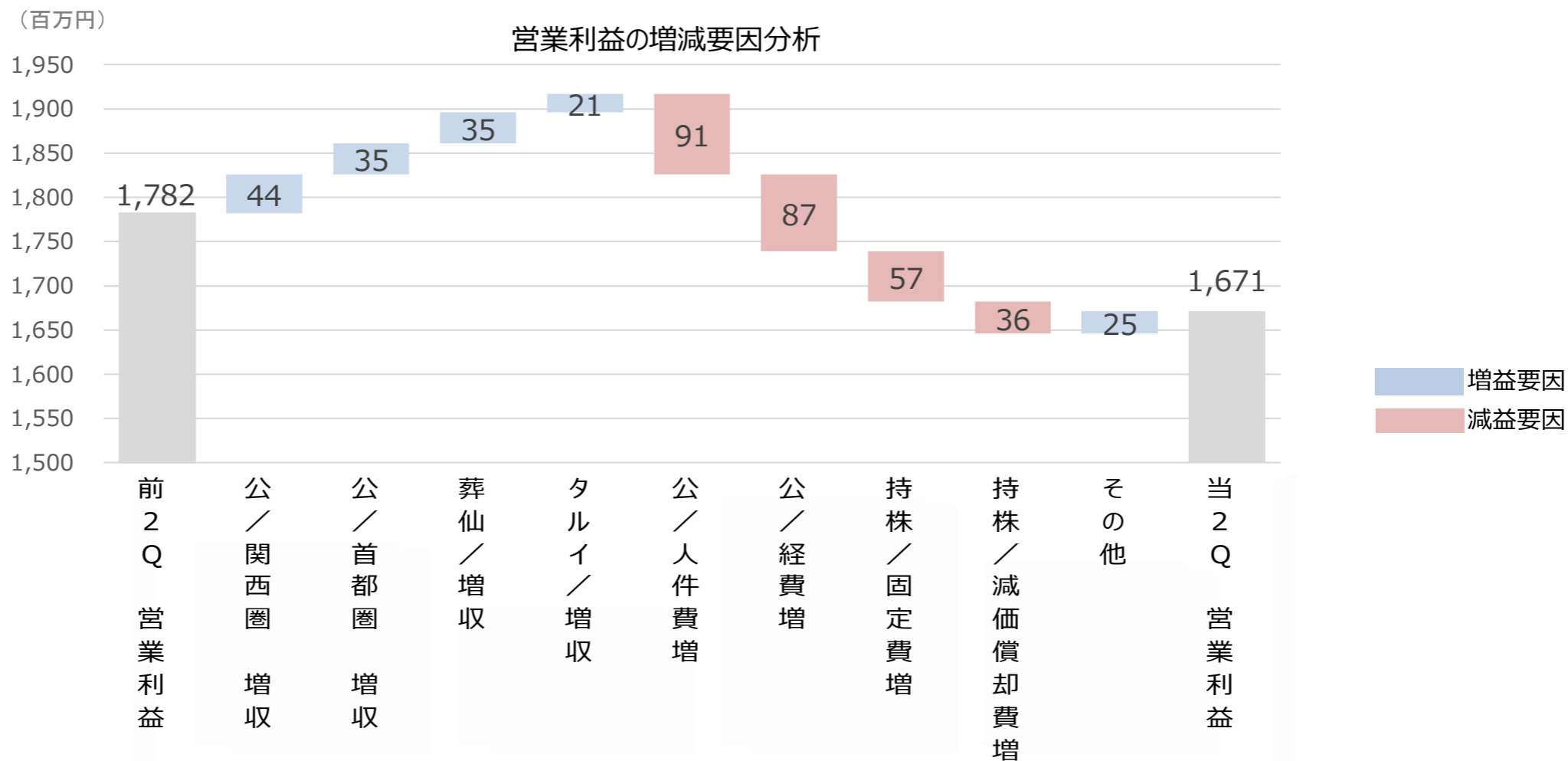


グループの葬儀件数・施行収入の推移

- ・ 2Q累計の葬儀件数は、前年同期と同水準（死亡者数前年並み、コロナ関連葬儀大幅減、新規出店による増）
- ・ 2Q累計の葬儀施行収入は、主に一般葬の葬儀単価の上昇が寄与し増収



葬儀事業3社を中心に増収となった一方、将来の成長のための先行投資として人件費、出店経費、広告宣伝費を増加させていることに加え、新規会館出店に伴う地代家賃の増加（持株会社）、基幹情報システムの稼働によるソフトウェアの減価償却費の増加（持株会社）等があったため、営業利益は減益。



公は公益社、持株は持株会社を示す。

貸借対照表の増減（資産の部）

- ・ 資産（負債純資産）合計は、1.9億円の減少
- ・ 新規会館投資及びリニューアル投資により設備投資3.8億円、減価償却4.0億円の計上等により、有形固定資産が0.2億円減少
新しい基幹情報システム構築に係るソフトウェアの増加により、無形固定資産が0.2億円増加
- ・ これらの投資資金や株主還元の資金に充当したことにより、現預金が2.5億円減少

（単位：百万円）	2023年3月末	2023年9月末	前年度末比 増減額
流動資産	11,039	10,854	▲ 184
現金及び預金	9,192	8,937	▲ 255
営業未収入金及び契約資産	919	982	63
固定資産	25,189	25,184	▲ 5
有形固定資産	22,483	22,456	▲ 27
建物及び構築物	9,840	9,604	▲ 235
建設仮勘定	14	217	203
無形固定資産	398	428	29
投資その他の資産	2,308	2,299	▲ 8
資産合計	36,229	36,038	▲ 190

（参考）

有形固定資産の設備投資額
（建設仮勘定除く）
" 減価償却費

182 百万円（FY2023 2Q累計）
400 百万円（ " ）

（注）勘定科目の詳細は主要なもののみ示した。

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

貸借対照表の増減（負債・純資産の部）

- ・ 負債は営業未払金、未払法人税等の流動負債の減少を中心に減少
- ・ 株主資本は当期3.1億円の自己株式取得実施により減少するも利益剰余金が増加
自己資本比率は前期末比2.1pt上昇して89.3%

(単位:百万円)	2023年3月末	2023年9月末	前年度末比 増減額
流動負債	3,559	2,821	▲ 738
営業未払金	993	827	▲ 165
未払法人税等	666	457	▲ 208
固定負債	1,054	1,026	▲ 28
リース債務	174	182	8
長期未払金	64	7	▲ 56
負債合計	4,613	3,847	▲ 766
株主資本	31,615	32,190	575
利益剰余金	25,153	25,994	841
自己株式	▲ 1,594	▲ 1,877	▲ 282
純資産合計	31,615	32,190	575
負債純資産合計	36,229	36,038	▲ 190
自己資本比率	87.3%	89.3%	2.1pt

(注) 勘定科目の詳細は主要なもののみ示した。

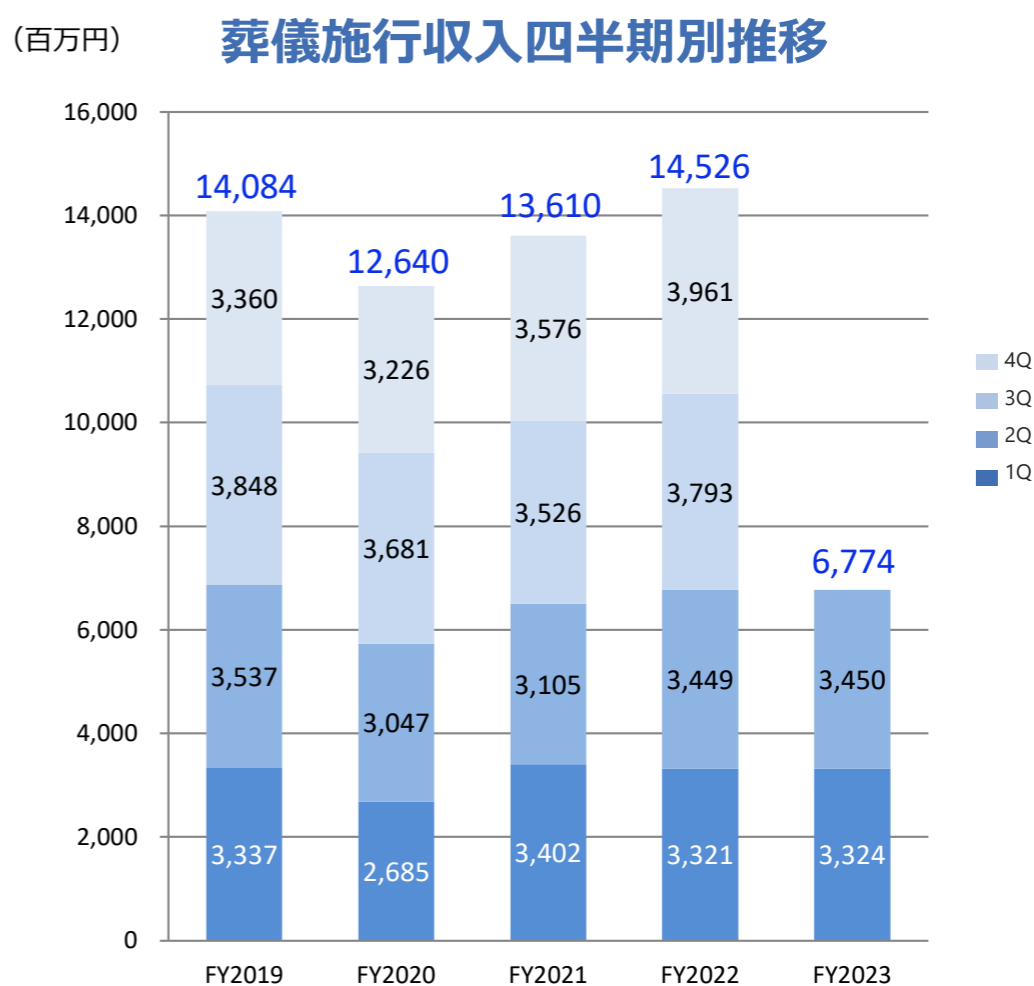
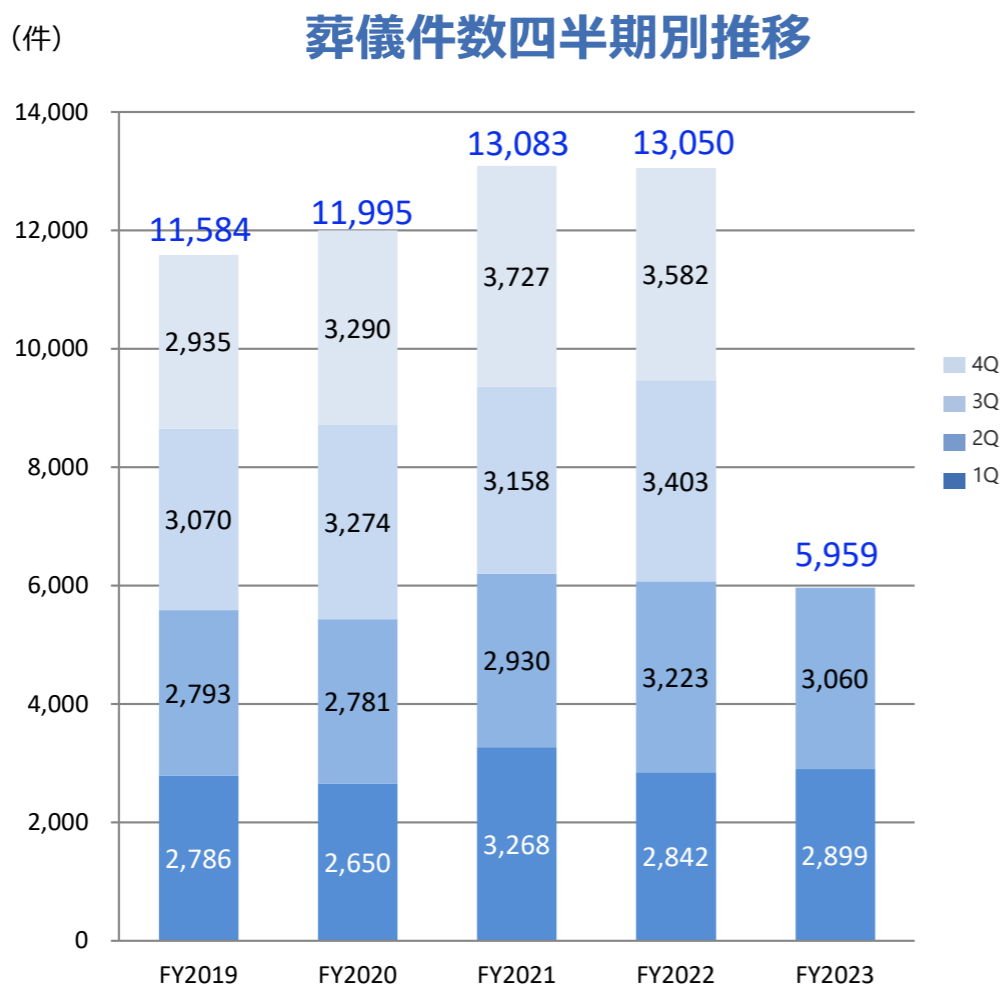
シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

公益社の葬儀（件数・単価）の状況

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

 SAN HOLDINGS

- ・【死亡者数】 2022年～2023年初頭は全国的な超過死亡傾向も、当期に入り収束の傾向が見られ前年並み
- ・【葬儀件数】 前年同期比1.7%の減少、しかし、コロナ関連葬儀の減少要因除くと1.5%の増加
- ・【葬儀施行収入】 一般葬儀の単価上昇により、前年同期比微増



公益社：葬儀件数・施行収入の増減

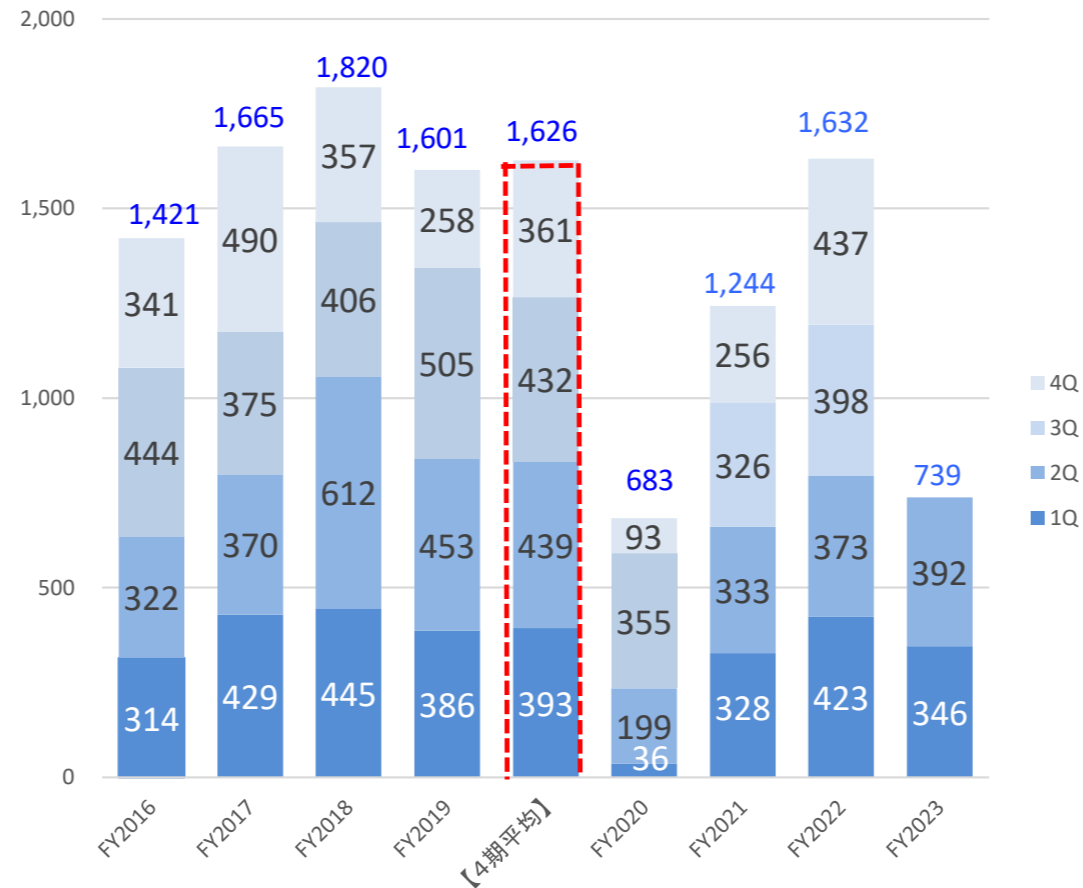
- ・ 関西圏の一般葬儀件数減の主な要因は、コロナ関連葬儀の減少によるもの。件数に比べて金額への影響は限定的
- ・ 一般葬儀は主に首都圏が増収に寄与
- ・ 大規模葬儀の減収の主な要因は、前期に単価の大きな葬儀が発生したこととの比較による単価減

	大規模葬儀 (500万円超)		一般葬儀		合 計	
	上段:件数(件)	下段:金額(百万円)	上段:件数(件)	下段:金額(百万円)	上段:件数(件)	下段:金額(百万円)
首都圏	▲ 3	▲ 93	13	59	10	▲ 33
関西圏	4	35	▲ 120	1	▲ 116	37
合 計	1	▲ 58	▲ 107	61	▲ 106	3

- ・ 社葬・お別れの会等の大規模葬儀（5百万円超）は、コロナ影響により2020年度にコロナ前の4割強の水準に落ち込んだが、2022年度より回復
- ・ 当期2Q累計は前年同期比件数+1件も単価減により7.3%の減収

(単位：百万円)

大規模葬儀 施行収入推移



公益社では全葬儀件数が1.7%減少したのに対して、葬儀単価は1.8%上昇

(地域別の特徴)

- 【首都圏の単価減】

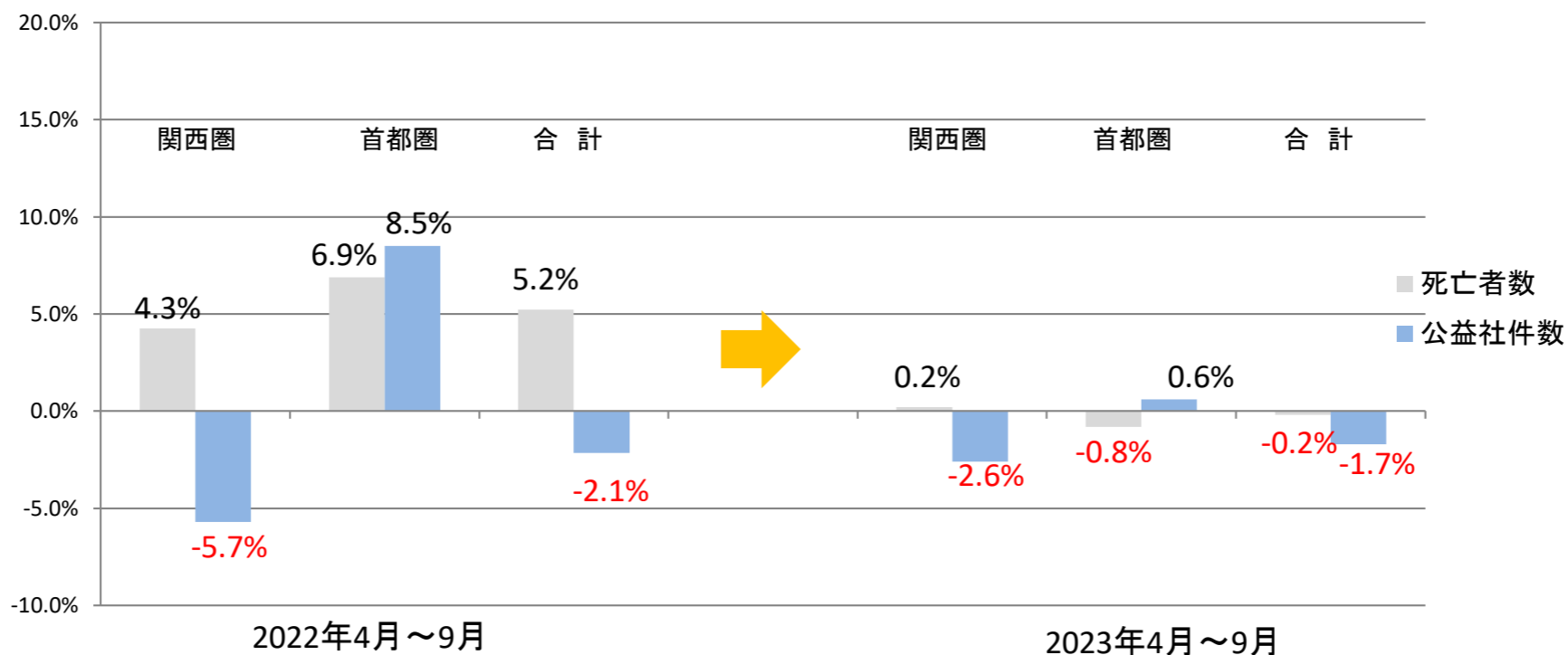
首都圏において一般葬儀（広義）（＝金額5百万円以下）の件数は増加、単価も上昇となるが、大規模葬の単価減の影響を受け、首都圏全体では単価減となった

- 【関西圏の件数減・単価上昇】

関西圏において一般葬儀（広義）（＝金額5百万円以下）の件数は、コロナ関連葬儀等の減少の影響を受け2.6%減少。一方、単価の上昇により関西圏全体では増収

上段：件数（件） 下段：単価（千円）	全社			首都圏			関西圏		
	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減率	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減率	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減率
公益社全葬儀	6,065	5,959	-1.7%	1,678	1,688	0.6%	4,387	4,271	-2.6%
	1,116	1,136	1.8%	1,397	1,369	-2.0%	1,008	1,044	3.6%

死亡者数と葬儀施行件数それぞれの増減率の比較により、シェアの増減を推定すると、
 （関西圏）他社の出店攻勢、コロナの収束傾向に伴うコロナ関連葬儀の減少によりシェア低下
 ※コロナ関連葬儀を除くと件数は1.9%の増加となりシェア向上
 （首都圏）死亡者数が減少する中、新規出店した会館を中心に件数を伸ばし、シェア向上



（注）2021年度は下期に特に東京都・神奈川県・大阪府において、コロナによる死亡でもコロナ以外での死亡でも「超過死亡数」が多数確認され、2022年度は上期に同じ3都府県において、専らコロナによる死亡で多数の「超過死亡数」が確認されている。（国立感染症研究所 感染症疫学センター「日本の超過および過少死亡数ダッシュボード」より当社集計）

葬仙・タレイの概況

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



- ・ 会葬者の増加により葬儀単価が上昇
- ・ 前年同期比11.1%増収
- ・ 人件費、経費、固定費の増加を吸収し大幅増益

	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減額	増減率
葬儀件数 (件)	721	720	▲1	-0.1%
葬儀単価 (千円)	829	910	81	9.7%
営業収益 (百万円)	689	766	77	11.1%
営業利益 (百万円)	45	63	18	37.7%

(注1) 営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく。

(注2) 営業利益は親会社の費用配賦前の金額を示す。

- ・ 小規模な葬儀に適した新規会館を中心に葬儀施行件数が増加
- ・ 葬儀単価は一般葬儀を中心に低下したものの、営業収益は前年同期比2.5%増収
- ・ 人件費、出店コスト等の増加により営業費用が増加し減益

	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	増減額	増減率
葬儀件数 (件)	725	776	51	7.0%
葬儀単価 (千円)	1,111	1,047	▲ 64	-5.8%
営業収益 (百万円)	869	891	22	2.5%
営業利益 (百万円)	168	159	▲ 9	-4.9%

(注1) 営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく。

(注2) 営業利益は親会社の費用配賦前の金額を示す。

2024年3月期（2023年度）の予想 （業績・配当）

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



(2024年3月期)

- ・ 期初に公表した通期業績予想の修正はなし

(減益となる主な理由) 将来の成長に向けた計画的な先行投資の実施

- ・ 新規出店 8 会館の計画に伴う 2.3 億円の先行コストの発生
- ・ 将来の件数増に備えて人員体制を強化するため、積極的な人材採用により 6.2 億円の人件費・採用費の増加
- ・ 前期の宝塚の旧会館土地等の売却益 2.8 億円の剥落

(単位：百万円)

	①通期予想	前期比		② 2Q累計 (上期) 実績	①-②	前年下期比	
		増減率	増減額			増減率	増減額
営業収益	22,700	4.8%	1,036	10,407	12,292	6.2%	712
営業利益	3,570	-7.7%	▲ 298	1,671	1,898	-9.0%	▲ 187
営業利益率	15.7%	-2.1pt		16.1%	15.4%	-2.6pt	
経常利益	3,560	-7.4%	▲ 283	1,684	1,875	-9.8%	▲ 204
当期 (四半期) 純利益	2,270	-18.4%	▲ 513	1,085	1,184	-24.3%	▲ 380

(2024年3月期)

- ・当初予想から変更なし 中間23.0円、期末11.5円（株式分割後）
⇒年間で34.5円（株式分割後） 前期比2円増配（8期連続増配）を予定
- ・予想配当性向 21.4%

(単位:円)

F Y 決算期	2018	2019	2020	2021	2022	分割前		分割後	
	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2023	2024/3	2023	2024/3
年間配当金	57.00	—	33.00	38.00	44.00	46.00	(予想)	—	
中間	27.00	30.00	16.00	17.00	21.00	23.00		23.00	
期末	30.00	16.00	17.00	21.00	23.00	23.00	(予想)	11.50	
配当性向（連結）	15.2%	18.8%	23.7%	20.3%	16.7%	21.4%	(予想)	21.4%	

(注1) 2019年10月1日を効力発生日とする1：2の株式分割を実施

(注2) 2023年10月1日を効力発生日とする1：2の株式分割を実施

(注3) 2024年3月期の予想配当性向は、2023年3月31日現在の自己株式数に基づいて計算

中期経営計画の進捗状況

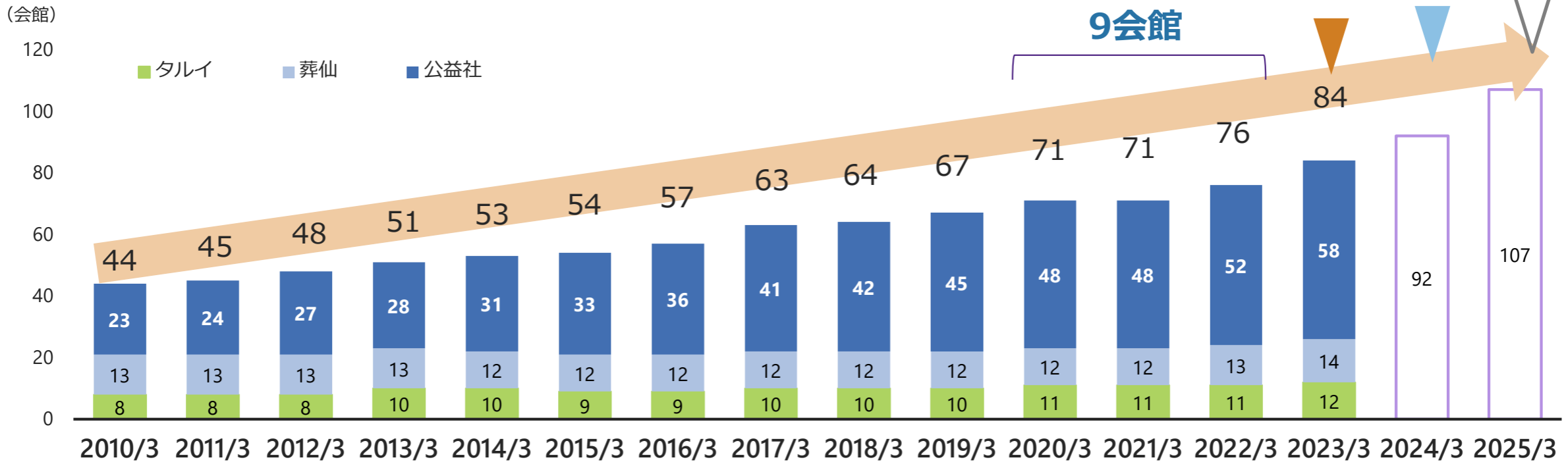
シニア世代とそご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



中期経営計画 重点項目 葬儀事業の拡大

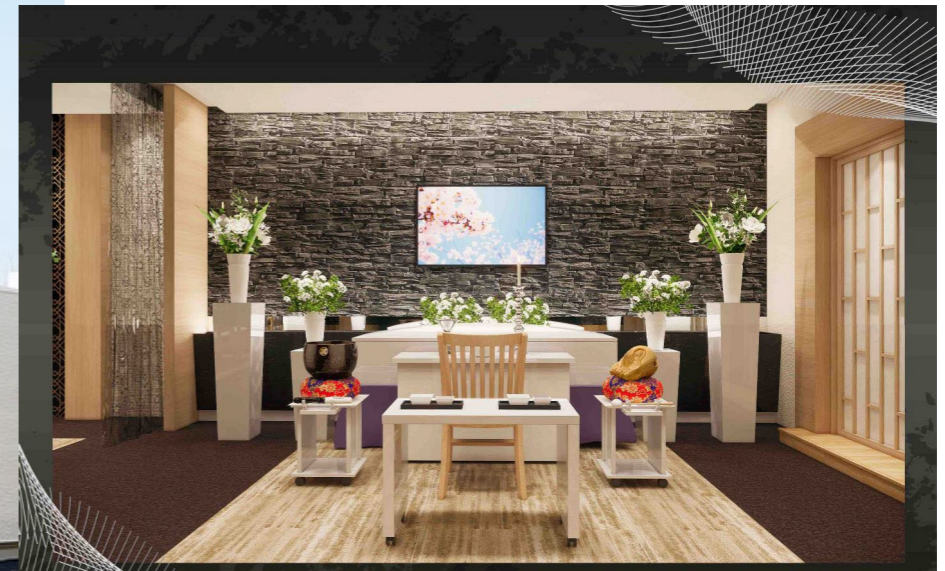
- 2023年3月に立ち上げた新しい葬儀ブランド「エンディングハウス」を中心に出店を加速化
 - 中計2年目にあたる今期（2024年3月期）は8会館を開設する予定
 - 2023年11月現在 グループ合計84会館
〔 公益社首都圏 18, 公益社関西圏 40, 葬仙 14, タルイ 12 〕

当社グループの会館数推移

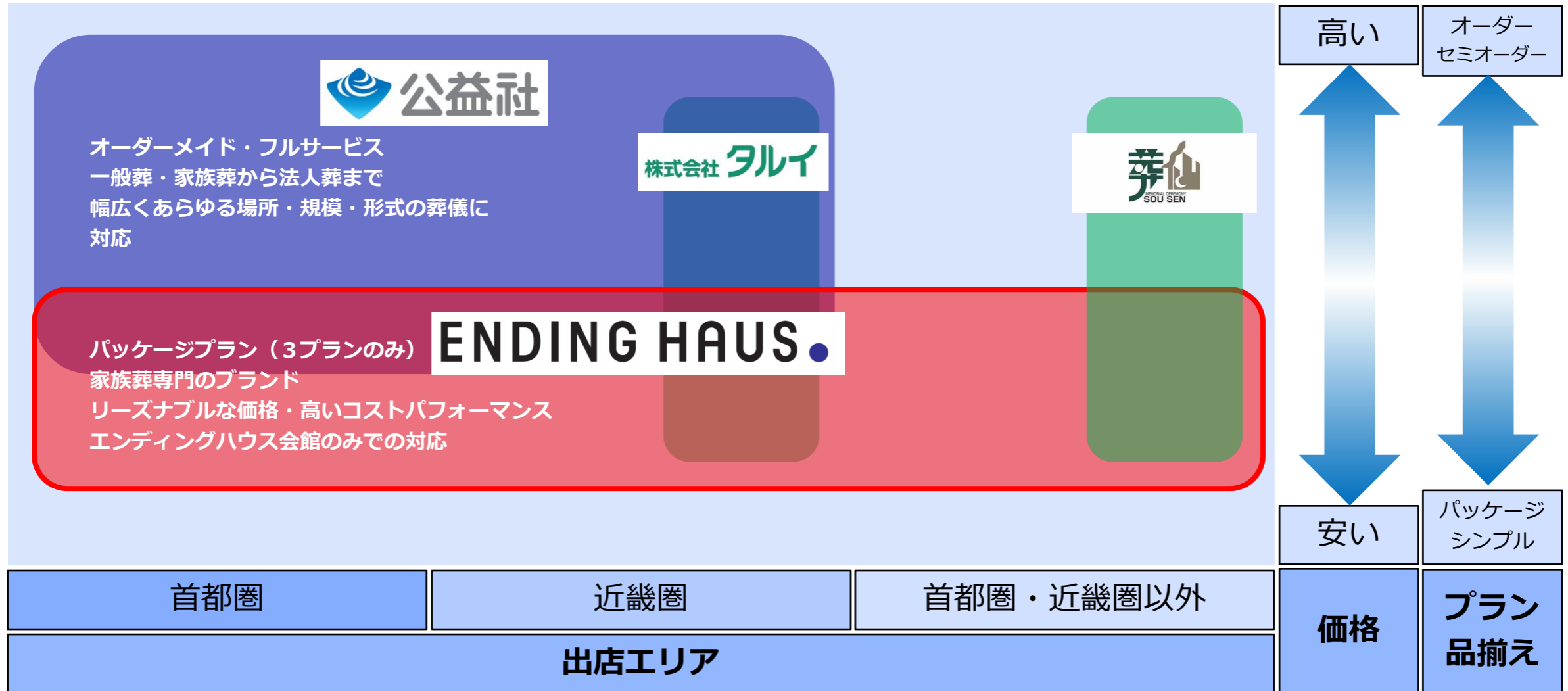


安心価格で、プロに頼れるお葬式。

ENDING HAUS ●



「エンディングハウス」のポジショニング



「エンディングハウス」 立ち上げ以降オープン状況

- 新しい葬儀ブランド「エンディングハウス」を2024年1・2月に新たに2会館をオープン予定
⇒ 「エンディングハウス」は6会館に

公益社関西圏

- エンディングハウス 大東（大阪府大東市）2023年3月28日Open
- エンディングハウス 大阪鶴見（大阪市鶴見区）2023年3月28日Open
- エンディングハウス 西淀川（大阪市西淀川区）2024年1月Open予定
- エンディングハウス 弥刀（大阪府東大阪市）2024年2月Open予定



公益社首都圏

- エンディングハウス 東四つ木（東京都葛飾区）2023年3月28日Open
- エンディングハウス 新小岩（東京都葛飾区）2023年3月28日Open

公益社ブランドのオープン状況

- 2024年1・2月に新たに2会館をオープン予定
⇒公益社ブランドによる会館は56会館に

公益社関西圏

- 公益社会館 箕面（大阪府箕面市）2024年1月Open予定



公益社首都圏

- 公益社 溝の口会館（川崎市高津区）2024年2月Open予定



- 幅広い層のお客様にご満足いただけるサービスを提供するために、これまでの葬祭サービスの展開エリア（首都圏／近畿圏／山陰）に限ることなく、全国にサービスを展開

2021年度実績
(2022年3月期)

中計1年目実績
(2023年3月期)

中計3年目計画
(2025年3月期)

10年後
(2032年3月期)

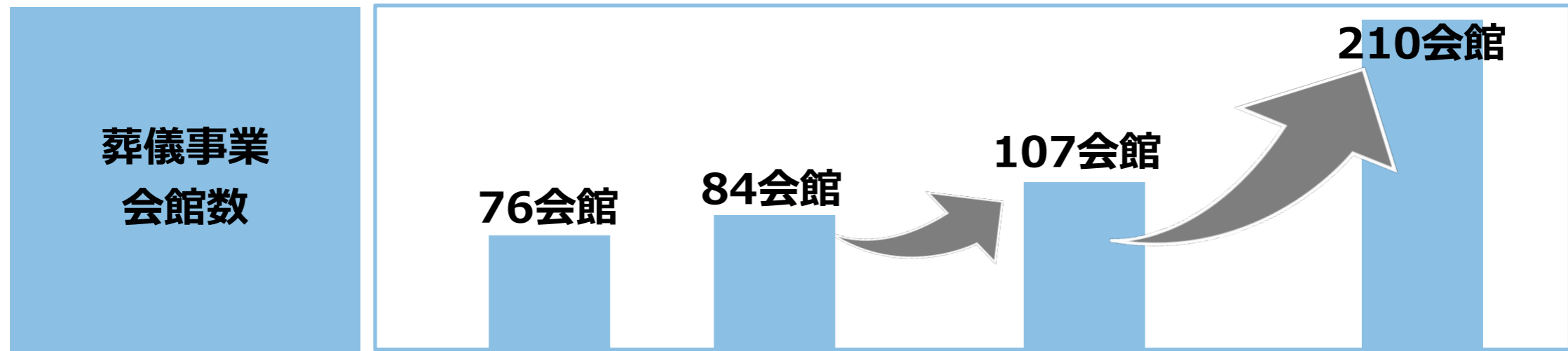
葬儀事業
会館数

76会館

84会館

107会館

210会館



1. シニア世代に向けた終活のポータルサイトを通じた商品・サービスの提供を拡大させる



パートナー企業様との提携を推進継続

2. 葬儀前後のサポートサービスの提供を拡大させる



不動産仲介サービスを開始

3. リハビリ特化型デイサービス施設で多くの方にご利用いただく



2023年6月新設「ポシブル宝塚中山寺」(兵庫県)を含む4施設で展開

4. 食事提供をおこなう高齢者施設数を増やす(関西圏に加えて首都圏へも展開)

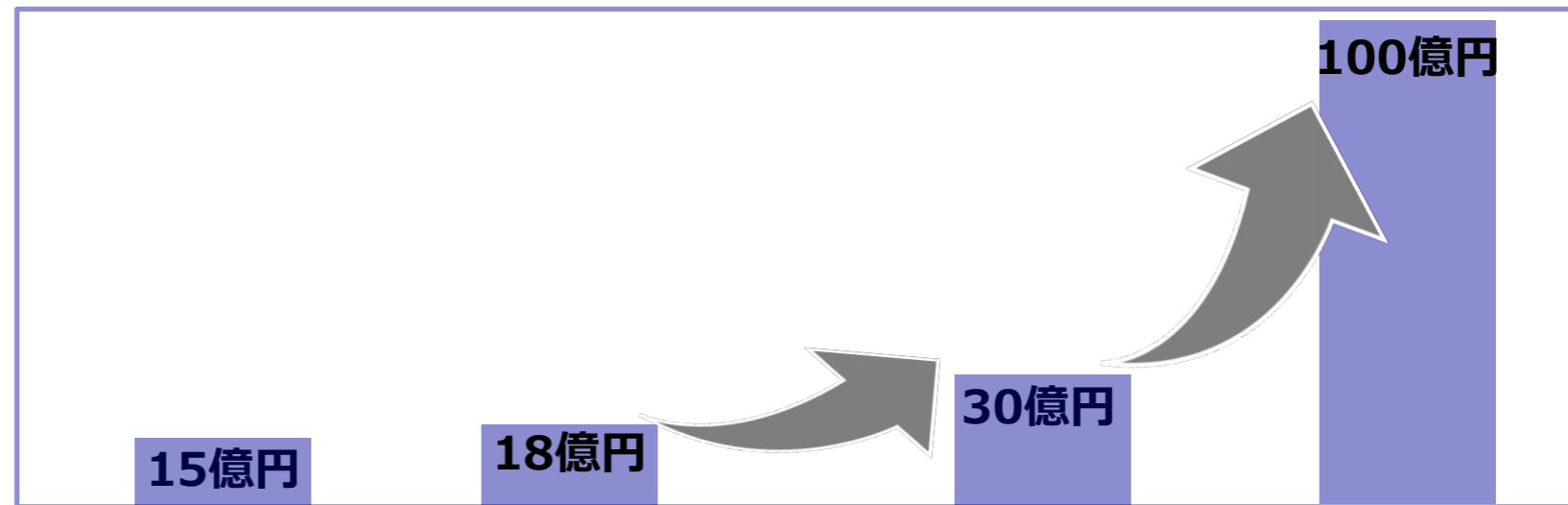


高齢者施設2施設と新規契約し
合計8施設で展開

- ライフエンディングサポート事業をさらに拡大させ、ライフエンディング・ステージを通じて、さらに様々な価値を提供すべく、新規事業／サービスの創出を推進し
お客様のクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献

2021年度実績 (2022年3月期)	中計1年目実績 (2023年3月期)	中計3年目計画 (2025年3月期)	10年後 (2032年3月期)
------------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------

ライフエンディング
サポート事業
売上高



ESGの3つの要素

環境
Environment



社会
Social



ガバナンス
Governance



■ 従来からの社会貢献活動の強化

- ・ 事業そのものが社会課題・問題解決に寄与
- ・ グリーフケア活動、自然災害発生時などの支援活動等

■ 環境問題への取組み

- ・ 消費するエネルギー削減を前提とした事業インフラ構築
- ・ サステナビリティ、持続可能な社会の実現に向けて貢献

社会 Social

グリーフケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> • ご遺族をサポートする分かち合いの場、「ひだまりの会」開催によるグリーフケア活動 2003年12月に活動を開始してから今年で20年、会員数1千名超
エンバーミング施行	<ul style="list-style-type: none"> • 故人を生前の元気だった頃のお姿に近づけ、衛生的に保全する科学的な処置（エンバーミング）を施行することにより、より良いお別れの実現 • コロナで亡くなられた方へのエンバーミング施行も実施（2022年11月より大阪にて開始、2023年6月より東京にて開始）
災害派遣	<ul style="list-style-type: none"> • 災害の際、予備自衛官（※）を含めた社員が、亡くなられた方の移送対応などその他被災地支援活動を担う <p>（※）自衛隊が予備要員として任用している非常勤の自衛官。当社エンバーマー（遺体衛生保全士）も予備自衛官として訓練を実施</p>
海外搬送	<ul style="list-style-type: none"> • 複雑な手続きを要する以下の故人様に対して海外連携の上対応 <ol style="list-style-type: none"> ①海外でお亡くなりになった方の日本への移送 ②国内でお亡くなりになった方の海外への移送

環境 Environment

TCFD対応	<ul style="list-style-type: none"> 2022年10月に賛同
環境配慮型商品の採用	<ul style="list-style-type: none"> エコ棺の新商品を2022年11月に販売開始 商品ラインナップの充実
リサイクル可能な資材・包装材の採用	<ul style="list-style-type: none"> 紙袋や封筒などに採用 2022年8月使用開始
温室効果ガスの排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 寝台車及び霊柩車をハイブリッド車両へ 2024年に約8割に（←2021年：3割） エンバーミング処置件数増によるドライアイス使用の削減
省エネルギー推進	<ul style="list-style-type: none"> 自社会館に太陽光パネルを設置 2会館 会館の新設時・リニューアル時にLED照明の採用 15会館

ガバナンス Governance

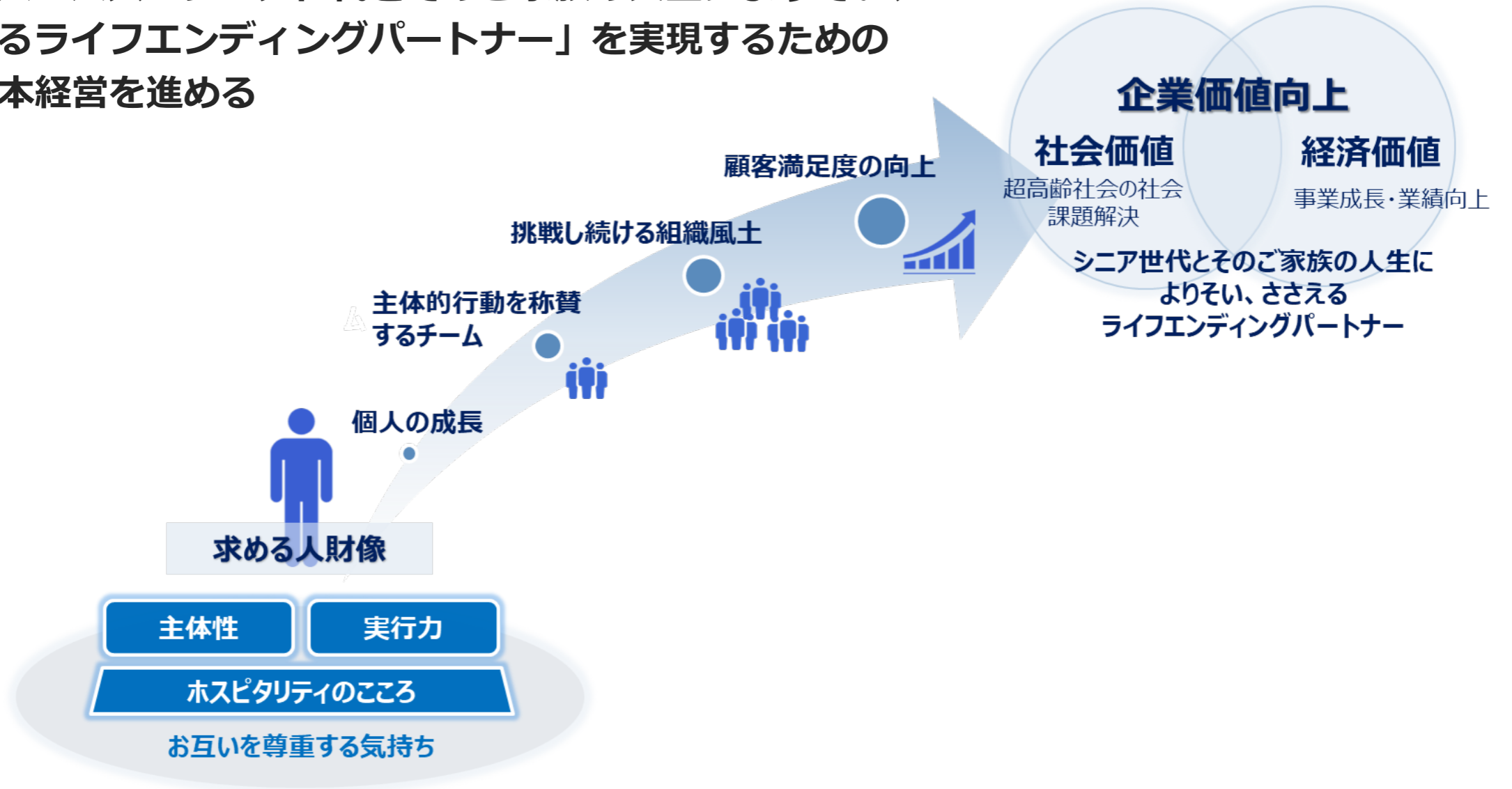
内部統制、コンプライアンスの遵守	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査の実施 コンプライアンス研修
有効なリスクマネジメント体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 年間の活動計画を作成し、年間通じて活動実施

当社グループの人的資本経営

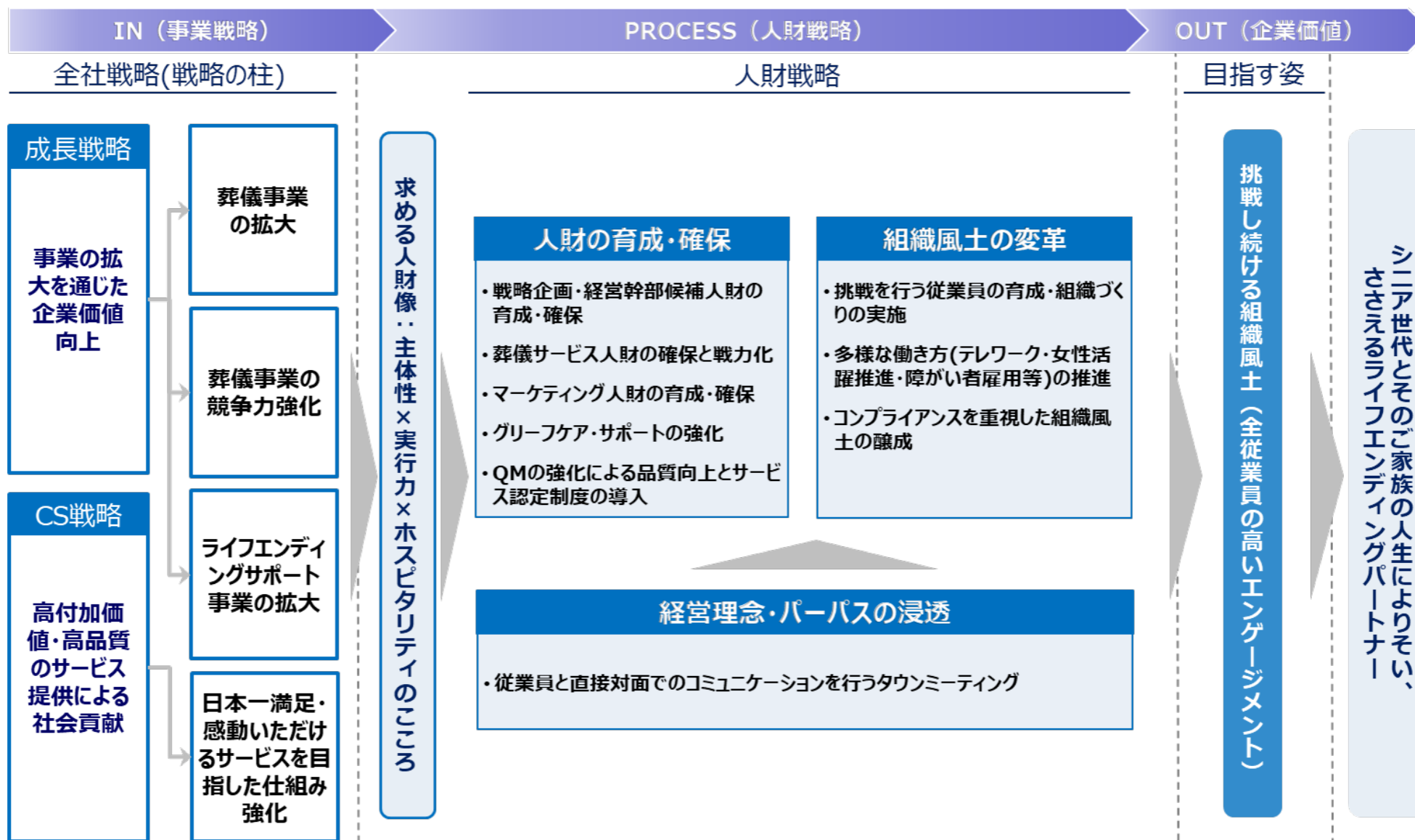
シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

人的資本経営の基本コンセプト

- 当社のパーパス「シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえるライフエンディングパートナー」を実現するための人的資本経営を進める



■ 挑戦し続ける組織風土の常態化によりパーパスを実現



中期経営計画 株主還元方針 (2022～2024年度)

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

■ 2023年9月30日時点の発行済株式数を、1株につき2株の割合をもって分割する

⇒投資単位当たりの金額が引き下がることで、流動性を高め、**より投資しやすい環境を整える**

分割の日程

基準日公告日 2023年9月4日（月）

基準日 2023年9月30日（土）※株主名簿管理人の休業日につき実質的には2023年9月29日（金）

効力発生日 2023年10月1日（日）

配当予想

F Y 決算期	2018	2019	2020	2021	2022	分割前 2023	分割後 2023
	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/3
年間配当金	57.00	—	33.00	38.00	44.00	46.00	—
中間	27.00	30.00	16.00	17.00	21.00	23.00	23.00
期末	30.00	16.00	17.00	21.00	23.00	23.00	11.50
配当性向（連結）	15.2%	18.8%	23.7%	20.3%	16.7%	21.4%	21.4%

（注）2019年10月1日を効力発生日とする1：2の株式分割を実施

（注）2023年10月1日を効力発生日とする1：2の株式分割を実施<今回の株式分割の実施>

株式分割による発行済株式数の増加に伴うものであるため、

2023年5月11日に公表いたしました1株当たり期末配当金及び通期配当総額の予想に実質的には変更無し。

自己株式取得の実施

自己株式についての考え方

株主への利益還元策の選択肢の一つとして位置づけ、
資金余力及び株価水準等を見たうえ総合的に考慮のうえ、実施してまいります。

2023年11月9日公表 自己株式の取得について (本中計期間3回目)

取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	350,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.69%）
株式の取得価額の総額	350百万円（上限）
取得期間	2023年11月10日から2024年4月30日
取得方法	東京証券取引所における市場買付け

(本中計期間中の過去の実施状況)

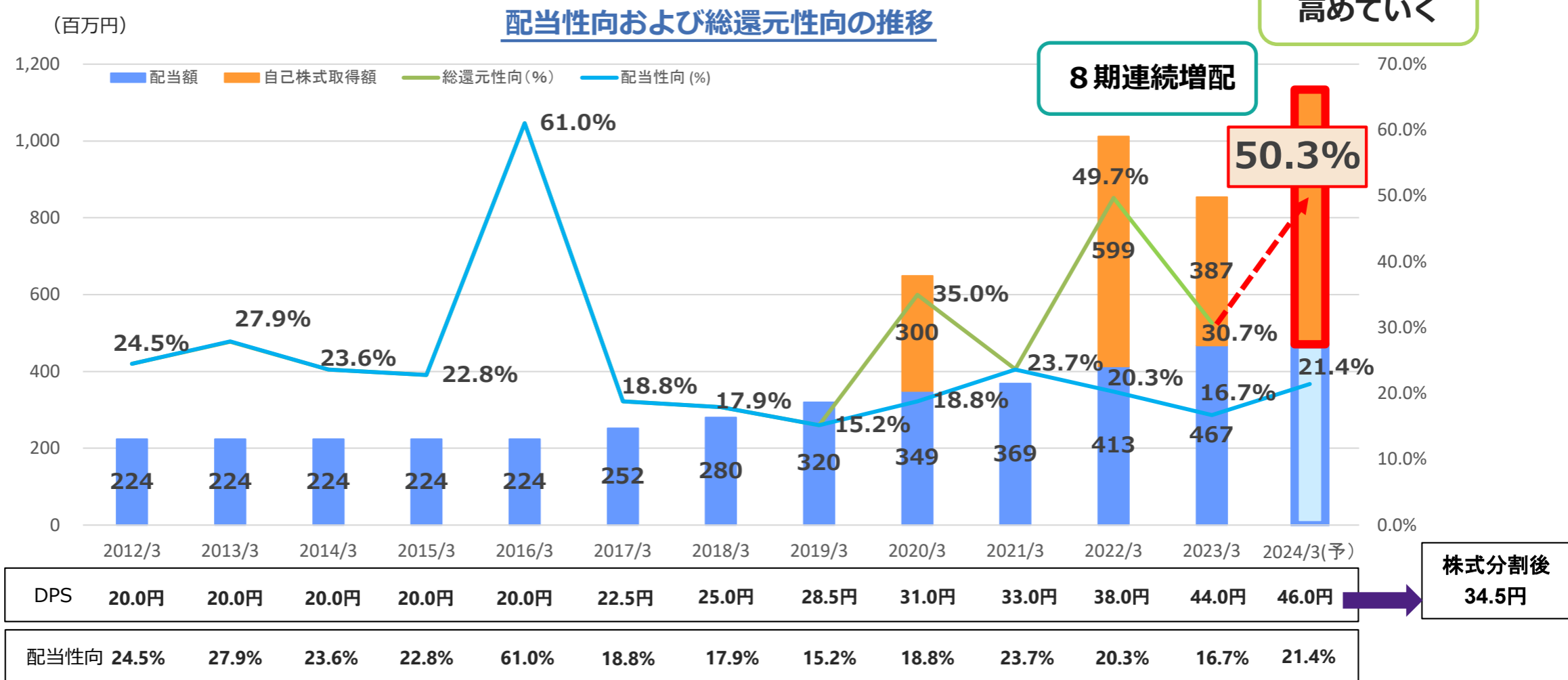
- 1回目 2022年5月13日から10月18日の期間に3億49百万円（19.35万株）を取得完了
- 2回目 2023年2月14日から6月13日の期間に3億49百万円（15.75万株）を取得完了

安定配当を基軸とした株主還元の向上

株主様への還元を中長期的に充実させてまいります。

剰余金の配当につきましては、連結業績および資金の状況、中長期的な成長投資のための内部留保の確保、ならびに財務の健全性等を総合的に勘案しながら、厳しい環境下においても安定配当を基軸としつつ増配に努めます。

また、自己株式の取得につきましては、資金余力及び株価水準等を見たうえ総合的に考慮のうえ実施してまいります。

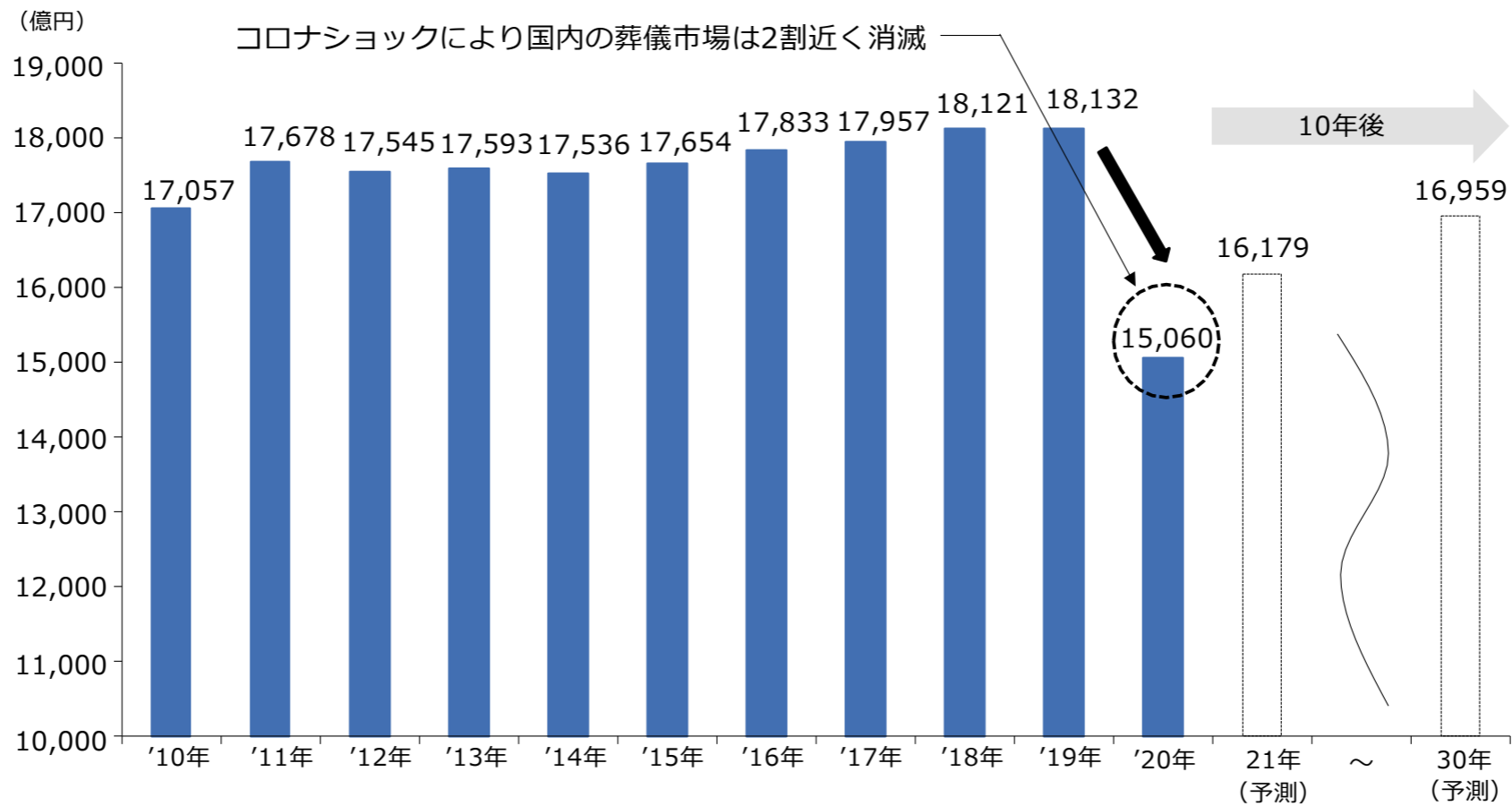


ご参考資料

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



- 大幅な成長は難しいまでも、一定の市場規模の維持は可能
 - ・ 葬儀の小規模化とコロナ禍の影響により葬儀単価は下落傾向
 - ・ 一方、死亡数は当面増加傾向

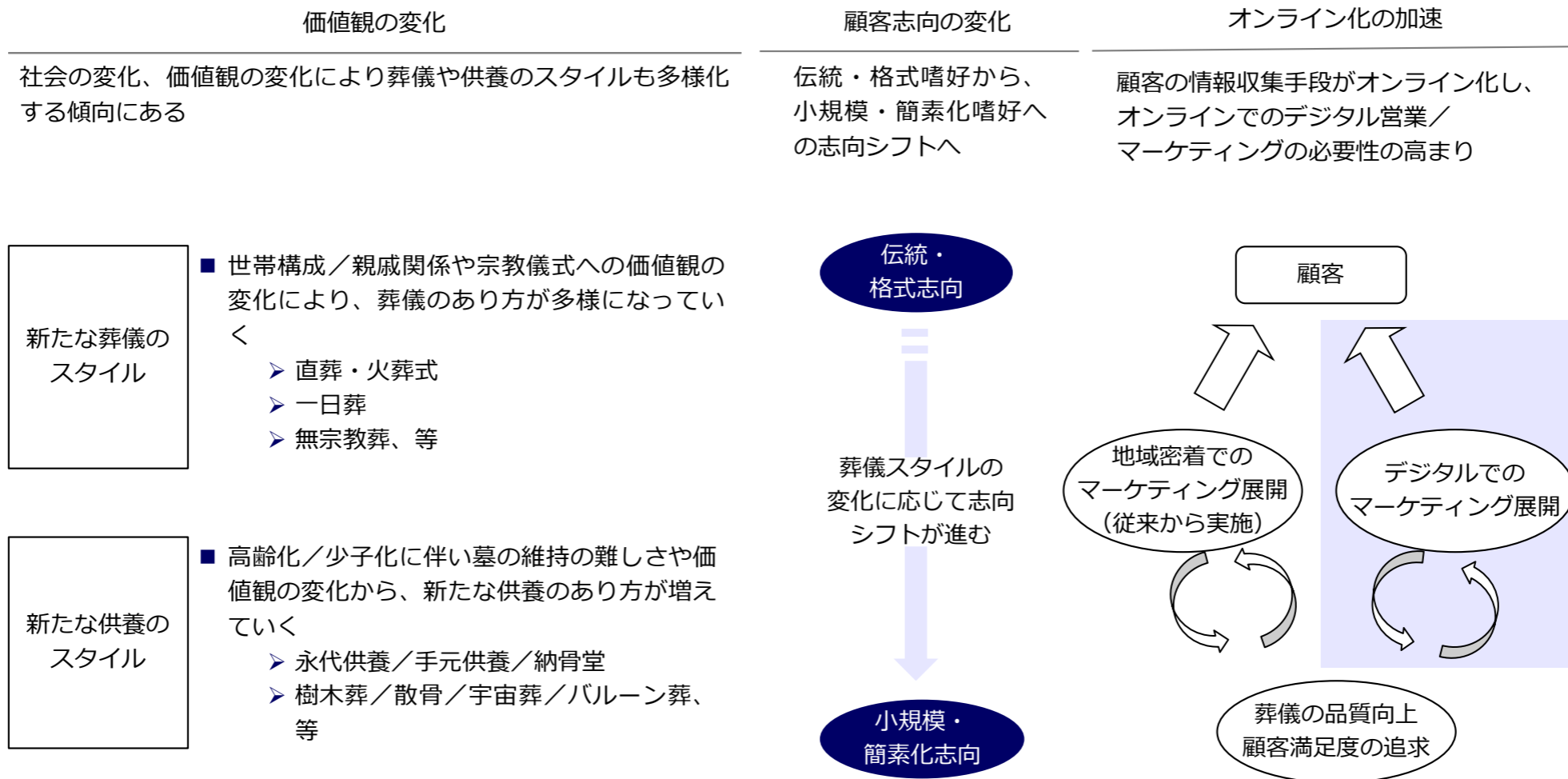


出所：矢野経済研究所「フューネラルビジネスの実態と将来の展望」（2021年版）

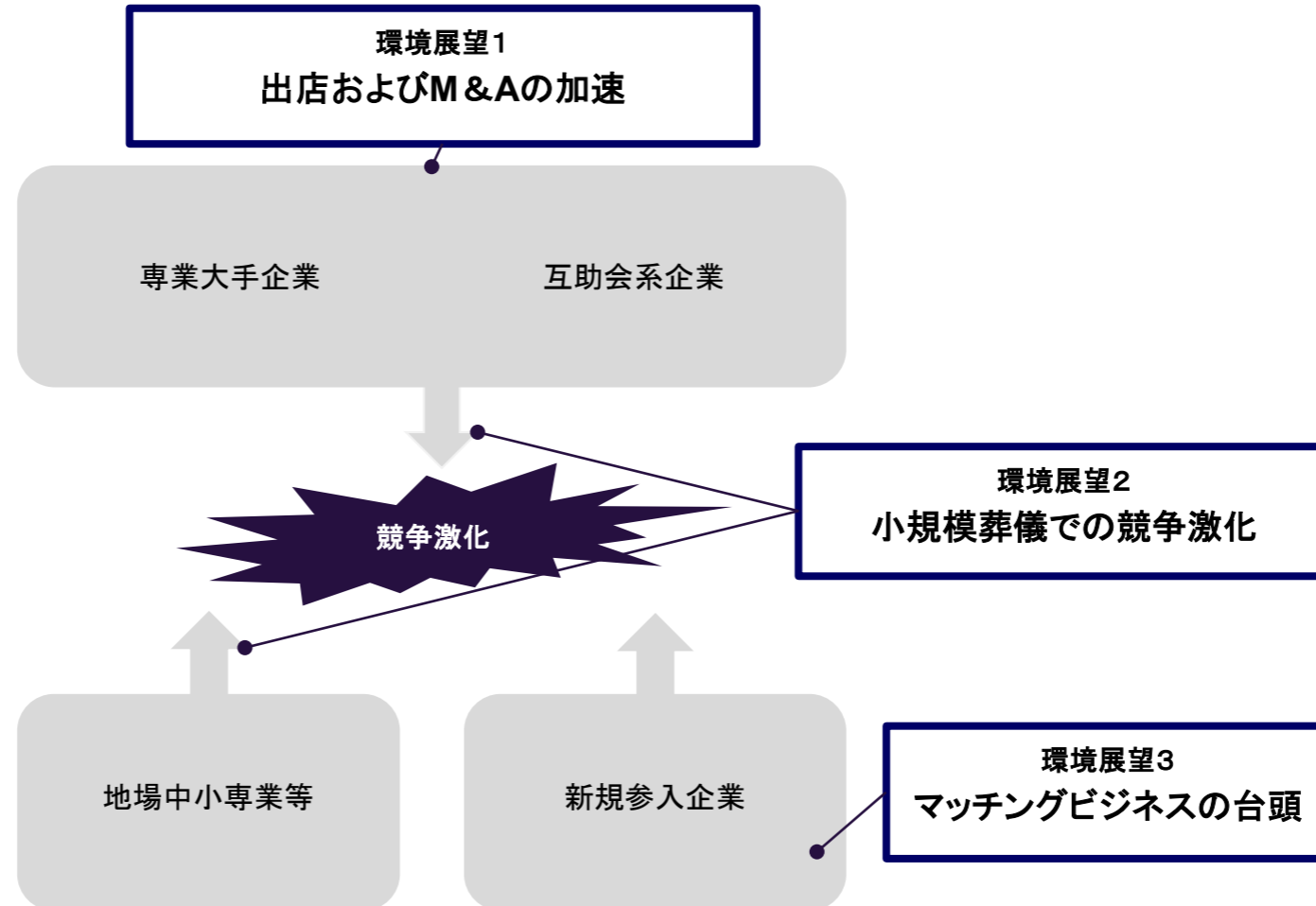
※葬儀単価（飲食・返礼品含む）× 葬儀件数（死亡者数の95%）にて算出

※寺院関連・火葬・仏壇・墓地墓石は除く

■ 価値観の変化、顧客志向の変化、オンライン化の加速により、市場は質的に大きく変化

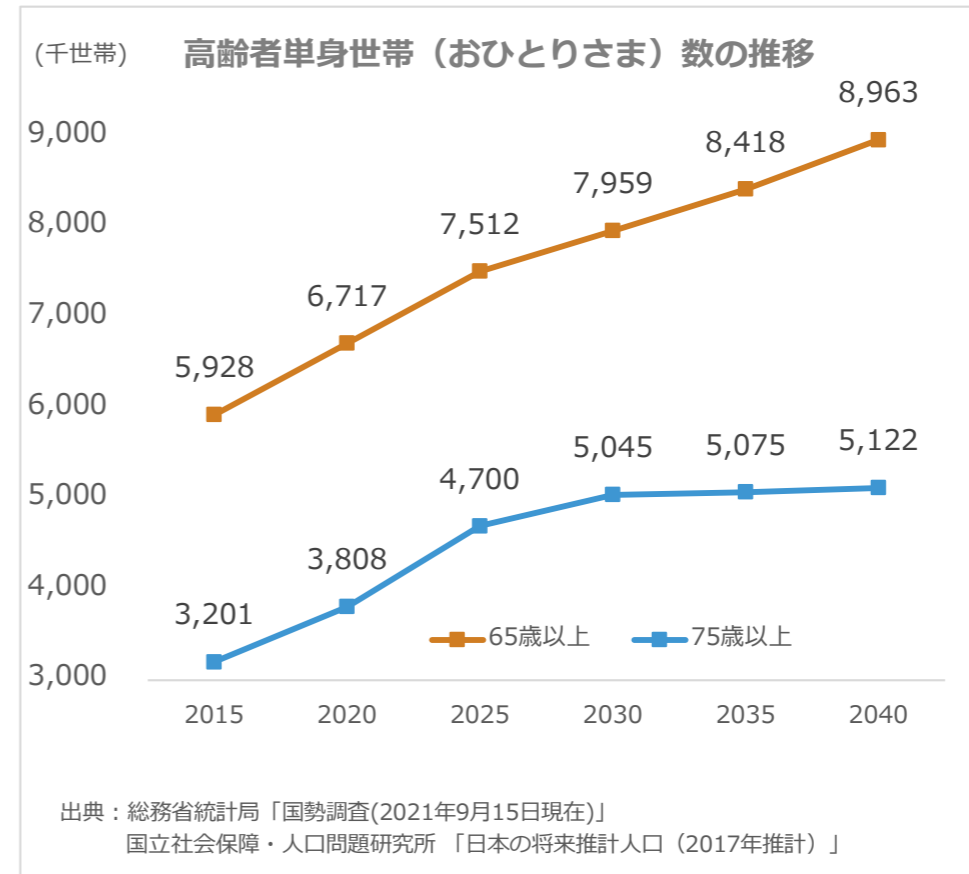
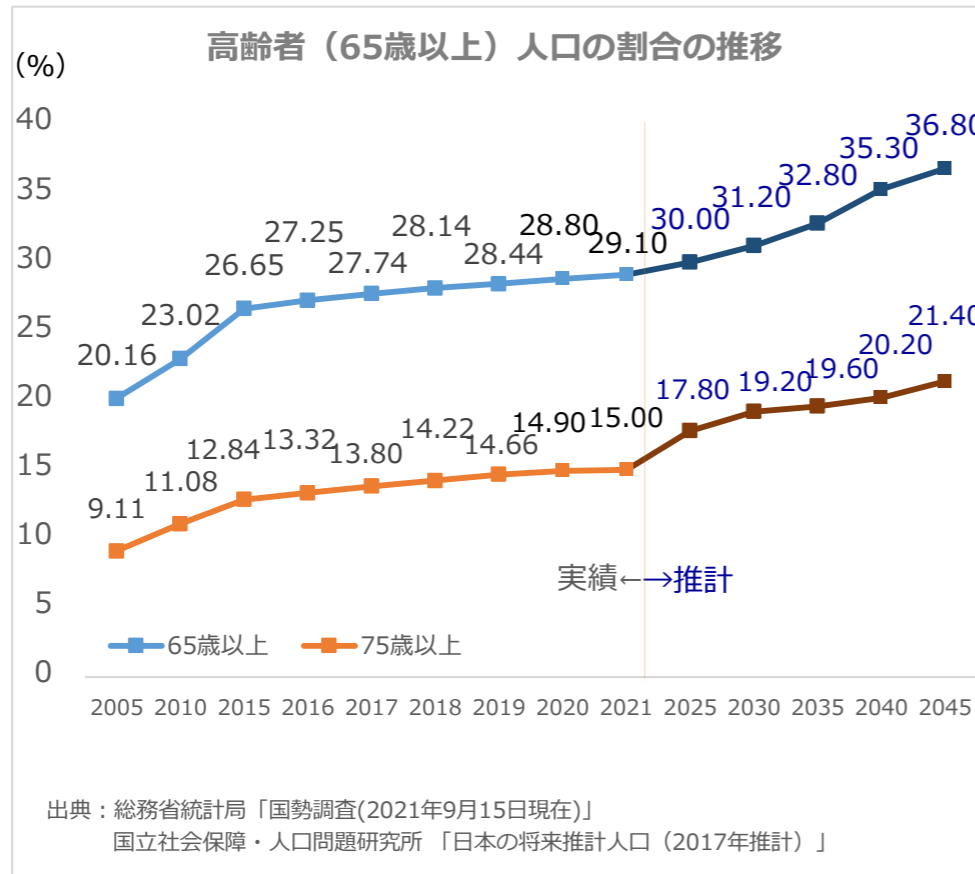


- 市場の変化に伴って、競争環境も大きく変質しつつある



シニアマーケットの成長

- 高齢者人口は増加傾向
 - ・ シニアマーケットは、高齢化の進展／高齢者の生活変化（多様化）によって成長が見込まれる
- 核家族化が進み、世帯人員数は減少の一途となり、高齢者の単身（おひとりさま）世帯数も増加傾向
 - ・ シニア世代向けのサポートのニーズが拡大することが見込まれる



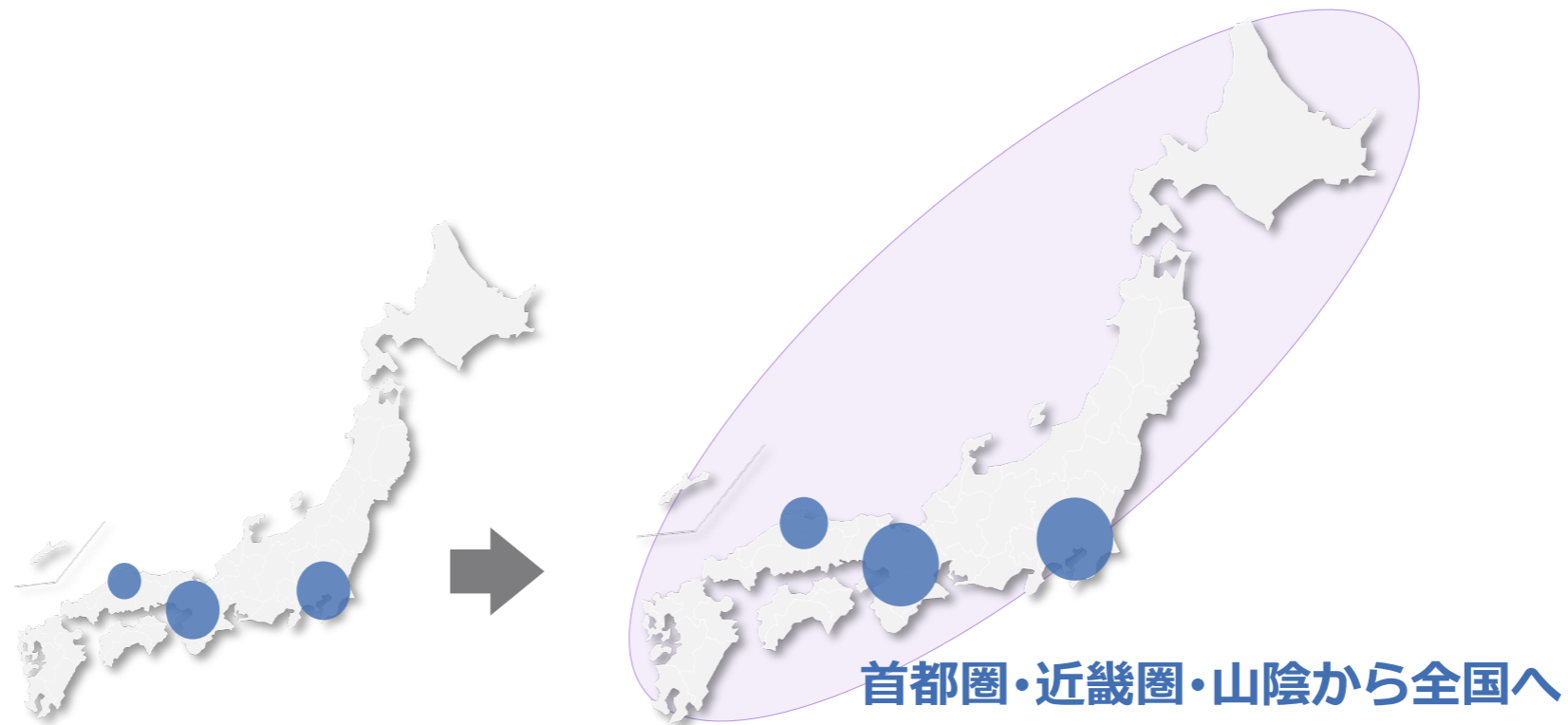
当社は創業90年を経て培ってきた強みやノウハウを活かして、葬儀事業にとどまらず、ライフエンディングサポート事業の拡大を目指します。

シニア層の方々が安心して心豊かな老後の時間を過ごすために必要となる終活や日常生活に関する課題解決のサポートを行っております。

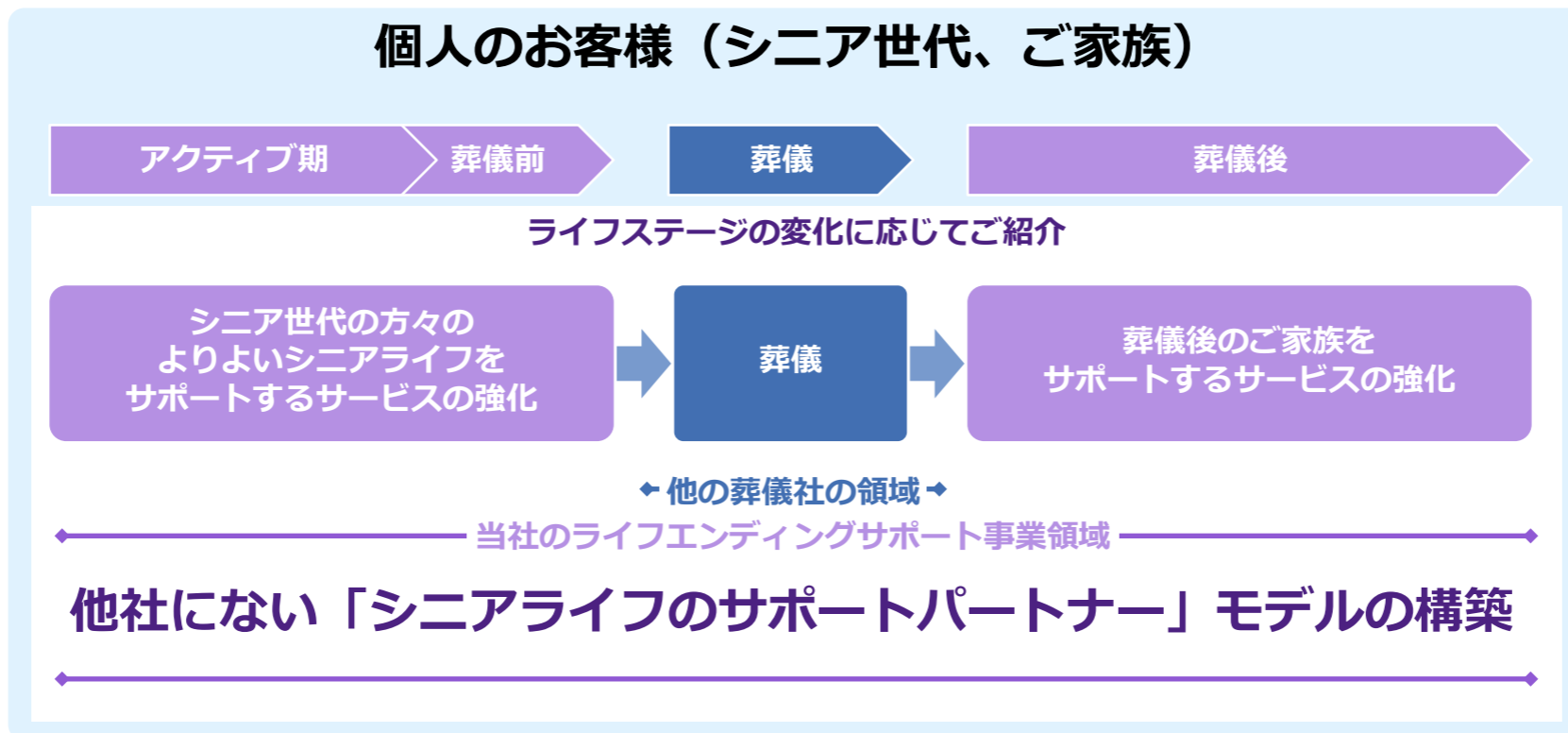
燦ホールディングスグループの強み

- ① **葬儀件数は年間15,000件以上、葬儀会館を84会館展開** (2023年11月時点)
- ② **経験豊富な葬祭ディレクターが多数在籍**〔葬祭ディレクター：315名〕 (2022年11月時点)
- ③ **「エンバーミング」の専門スタッフが在籍**〔エンバーマー：25名〕 (2023年4月時点)
- ④ **葬儀前から、そして葬儀後も安心のトータルサポート**
- ⑤ **これまで培ってきたノウハウや知見を活かしたライフエンディングサポート事業**
- ⑥ **社葬・お別れの会の施行**においても業界トップクラスの実績
- ⑦ **葬儀後も精神面でも遺族によりそう、ひだまりの会**

1. **幅広い層のお客様にご満足いただけるサービスを提供するために、これまでの葬祭サービスの展開エリア（首都圏／近畿圏／山陰）に限ることなく、全国にサービスを展開します**



2. **ライフエンディングサポート事業をさらに拡大**させ、
 ライフエンディング・ステージを通じて、さらに様々な
 価値を提供すべく、新規事業／サービスの創出を推進し
お客様のクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献します



ライフエンディングサポート事業とは

ライフエンディング・ステージにおいて必要とされる日常生活や、人生の終末期の準備のサポート等、安心して心豊かな老後の時間を過ごすために必要とされるサービスや商品を提供することで社会に貢献する事業



家事代行



ご葬儀の前 ご葬儀 ご葬儀の後



- 中期経営計画において成長のための積極的な投資を行う。中計3カ年で**88億円以上の営業キャッシュ・フローを創出する見込み**で、うち**10～15億円を既存設備投資へ**、**45億円以上を成長投資に**充当する。

中計期間の
営業CF
約88億円

(参考)
うち減価償却費の
累計
約30億円

既存設備への投資
約10～15億円

既存設備のリニューアル、改修は、減価償却費の範囲を基本とする

成長投資
45億円以上

【オーガニックな成長】
葬儀会館の積極的な新規出店、
ライフエンディング事業の強化
【インオーガニックな成長】
M & A、アライアンス

株主還元

【配当】
安定配当を基軸としつつ増配に努める
【自社株式取得】
キャッシュフローの状況、株価の動向など
勘案して機動的に実施

「参考情報」メール配信サービスのご案内（2023年3月1日開始）

当社の最新情報（適時開示情報やプレスリリース、テレビ放映・燦HD公式note更新等のお知らせ）をお届けするメール配信サービスは燦ホールディングスのホームページよりご登録いただけます。



<https://www.san-hd.co.jp/>

燦ホールディングス株式会社 東証プライム上場 | 日本語 | お問い合わせ | サイトマップ | 印刷 | 印刷 | 印刷

新型コロナウイルスに関する当社グループの対応について

グループについて | 株主・投資家情報 | ニュース | サステナビリティ | 業務提携 | 採用情報

ライフエンディングのトータルサポート企業としてシニアライフをサポート

ニュースリリース → 一覧へ RSS

2023年04月03日	株主・総務・人事	自己株式の取得状況に関するお知らせ (PDF形式: 125KB)
2023年03月29日	その他	当社が紹介された日経CNBCのIR番組の動画配信が開始されました。
2023年03月29日	その他	ライフエンディングの最新情報をお届けする『燦ホールディングスHeartful Vol.8』を発行。移活(ライフエンディングプラン)は今が転機!不安だらけの老後ではなく、希望に満ちた未来に“ガテマ” (PDF形式: 293KB)
2023年03月27日	取締役委員会	取締役委員の新ブランド展開のお知らせ (PDF形式: 464KB)
2023年03月27日	取締役委員会	燦ホールディングスグループ お客様の価値観の変化に対応した 取締役委員の新ブランドを公開 (PDF形式: 642KB)
2023年03月27日	株主・総務・人事	子会社の組織の名称変更に関するお知らせ (PDF形式: 153KB)
2023年03月23日	株主・総務・人事	取締役および執行役員の担当・経歴等に関するお知らせ (PDF形式: 127KB)
2023年03月23日	株主・総務・人事	子会社の組織変更に関するお知らせ (PDF形式: 152KB)
2023年03月23日	株主・総務・人事	子会社役員の変動に関するお知らせ (PDF形式: 122KB)
2023年03月23日	株主・総務・人事	子会社の取締役および執行役員の管掌・担当に関するお知らせ (PDF形式: 126KB)
2023年03月23日	株主・総務・人事	子会社の役員人事に関するお知らせ (PDF形式: 115KB)
2023年03月01日	その他	当社の最新情報をメールでお届けする「メール配信サービス」を開始しました。
2023年03月01日	決算・業績	2023年3月期第3四半期決算短信(英語版)を掲載いたしました。
2023年03月01日	株主・総務・人事	自己株式の取得状況に関するお知らせ (PDF形式: 125KB)

メール配信サービス



会社概要

社名	燦ホールディングス株式会社
設立	1944年（昭和19年）10月2日 （創業1932年8月）
資本金	25億6,815万円
上場市場	東証プライム／証券コード 9628
営業収益	216億63百万円（2023年3月期）

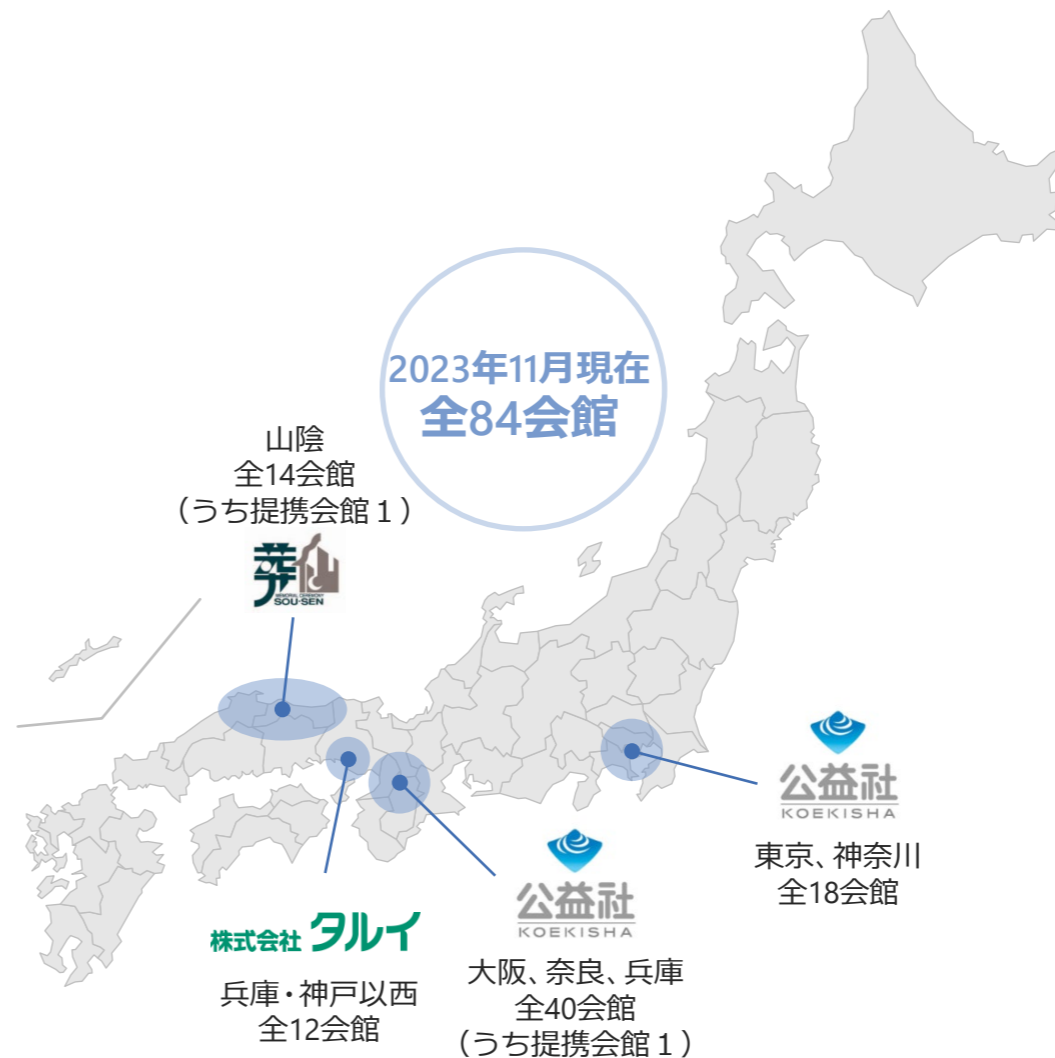
現時点での葬儀事業の展開エリア

- 首都圏（東京、神奈川）
- 関西圏（大阪、兵庫、奈良）
- 山陰地方（鳥取、島根）

業界特性

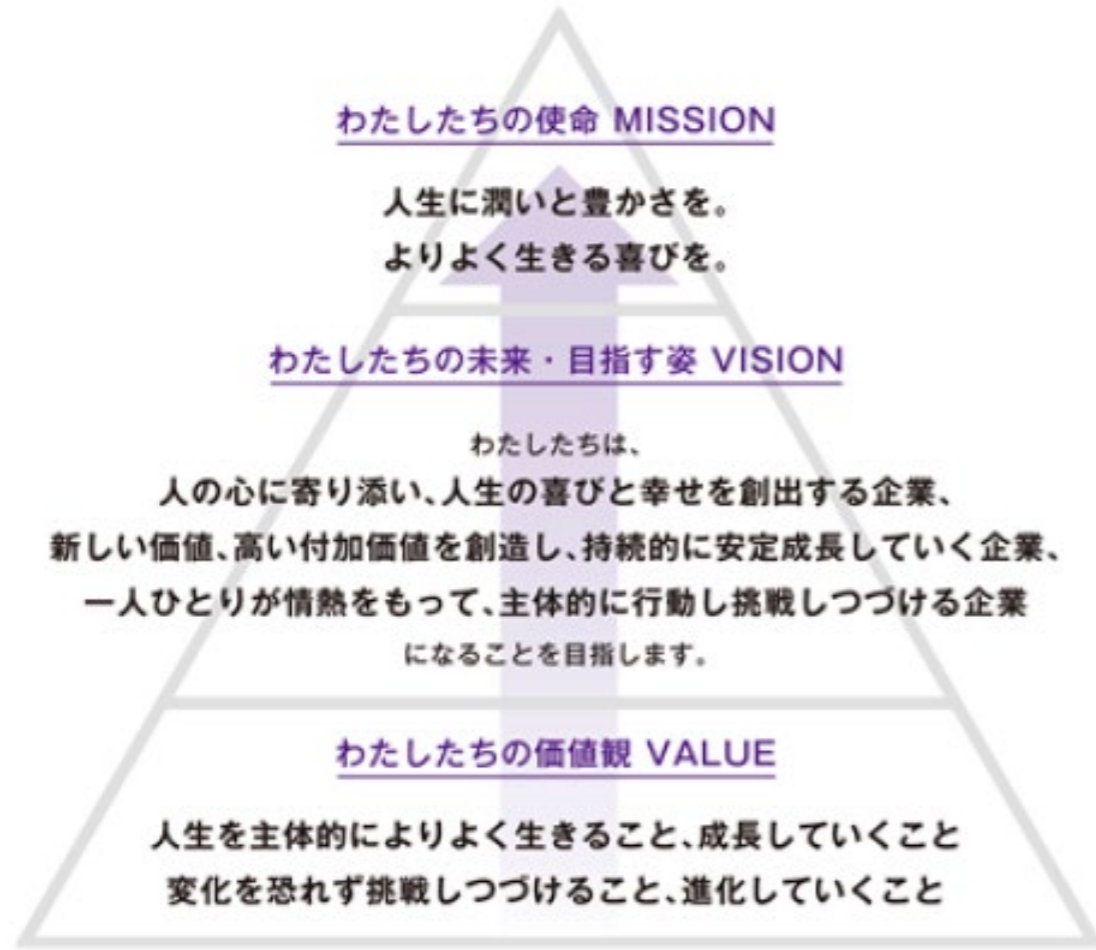
監督官庁がなく、規制がない業界

参考）業界規模…年間死亡者数約139万人（2022年）
2040年まで約170万人の死亡者数が予想される。
年間約1兆6,070億円（137万人×117.3万円）

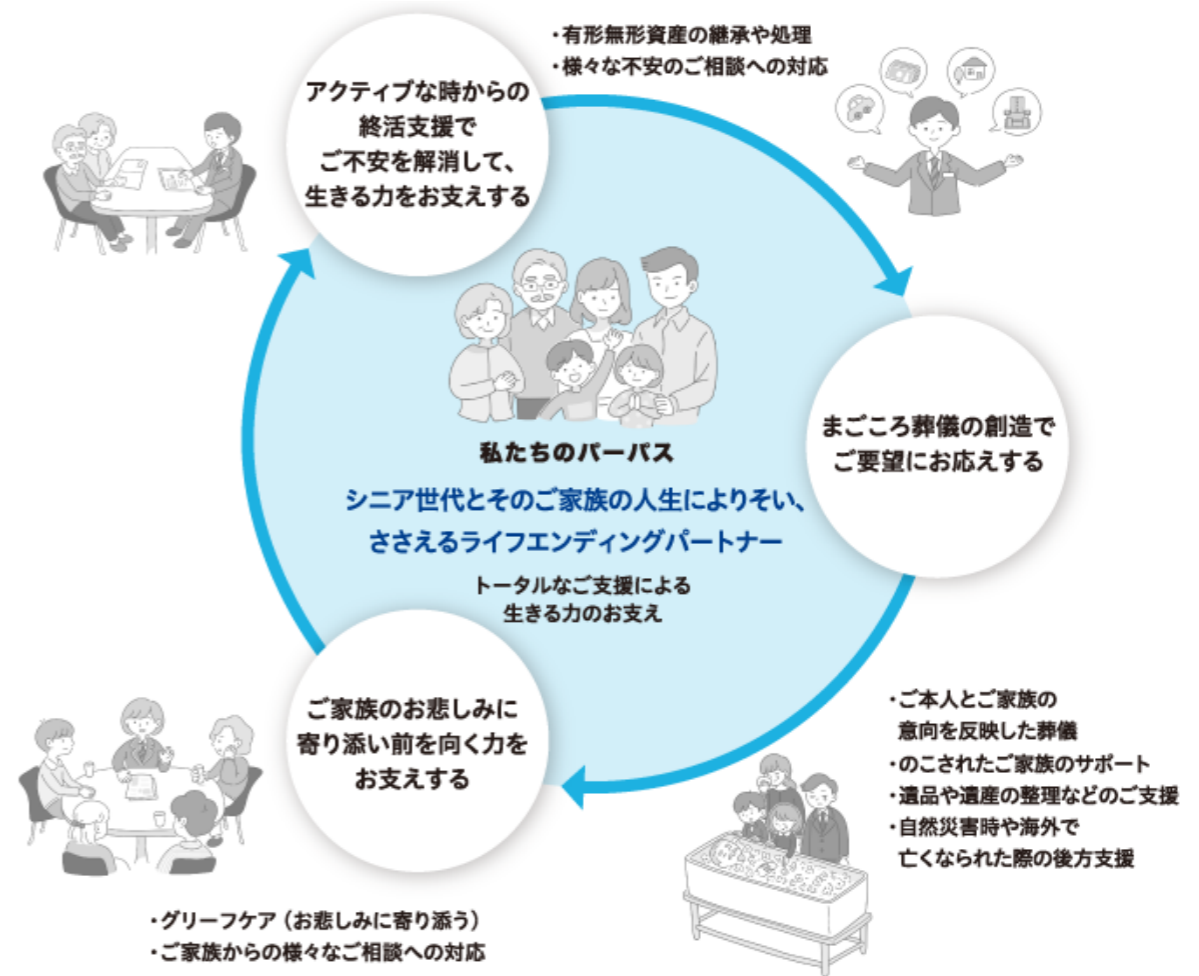


「参考情報」 燦ホールディングスの経営理念・パーパス

経営理念



パーパス



《注意事項》

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先： 燦ホールディングス株式会社 経営企画部
TEL 06-6226-0038

2023年11月20日

2024年3月期第2四半期決算説明ライブ配信

Copyright 2023 SAN HOLDINGS, Inc. All Rights Reserved.

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

 SAN HOLDINGS